EPSON

ES-6000H
スタートアップガイド

スキャナとコンピュータを接続して画像を取り込む手順を説明しています。



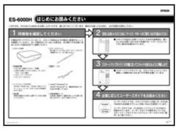
CONTENTS

EPSON TWAIN Proのインストールは、必ず本書の手順に従ってください。本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。

本書は、スキャナの近くに置いてご活用ください。

4011565-03
xxx

取扱説明書の種類と使い方



はじめにお読みください

同梱物と取扱説明書のご案内をしています。製品をお使いになる前にお読みください。



安全にお使いいただくために／サービス・サポートのご案内

安全にお使いいただくためのご注意、困ったときの問い合わせ先などをご案内しています。ご使用の前に必ずお読みください。



スタートアップガイド（本書）

スキャナとコンピュータを接続して画像を取り込むまでの手順を説明しています。



ネットワークガイド

スキャナをネットワーク環境で利用する手順を説明しています。



ES-6000H ソフトウェア CD-ROM

■ユーザーズガイド
EPSON TWAIN Proの詳細・スキャナビボタンの使い方・オプションの使い方などを説明しています。

■ネットワークガイド
ネットワークガイドの PDF 版です。サーバなどにインストールすれば、クライアントが共有できます。

■アプリケーションガイド
CD-ROMに収録されているTWAIN対応アプリケーションについて説明しています。

☞「ヘルプとユーザーズガイドのご案内」71 ページ

本書のもくじ

コンピュータとの接続

ソフトウェアのインストール

画像の取り込み

困ったときは

付録

ユーザーズガイド(CD-ROM)のもくじ

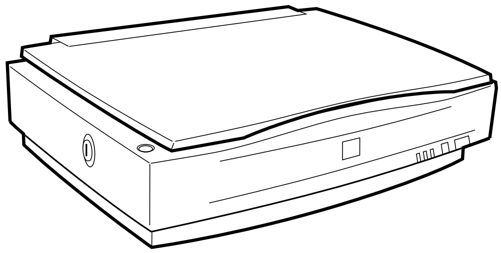
先頭の数字はページ番号を表します。

ES-6000Hの特長

ES-6000Hは、大版/高画質の画像入力に適したスキャナです。本機は以下の特長を備えています。

高画質

光学解像度は600×1,200dpiです。
また、入力階調は各色12bitですので*、明るい部分や暗い部分の階調再現性能が優れています。
*出力階調は各色8bit（1,677万色）です。



A3に対応

最大取り込み領域は297mm×432mmです。A4見開き原稿・ポスター・CAD図面などの取り込みにご利用いただけます。

原稿の連続取り込みが可能

オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を取り付けることにより、原稿を連続して取り込むことができます。大量の文書の取り込みやファイリングに威力を発揮します。このADFは、両面取り込みも可能です。

ボタンを押すだけ簡単操作

スキャナビボタンを搭載しました。このボタンは次のようなことを実現します。

- ボタンを押すだけでTWAIN対応アプリケーションとEPSON TWAIN Proを起動
- ボタンを押すだけで自動的に画像を取り込む
- 例えば、取り込むだけでなく、さらに文字原稿の認識（OCR）まで自動化

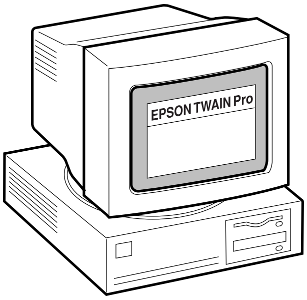
このボタンにより、スキャナがより身近になります。

ネットワーク対応

スキャナを接続したPCをネットワークに接続し、専用のソフトウェアをインストールすれば、ネットワーク上の他のPCでスキャナを利用することができます。
ネットワークでの利用方法については、ネットワークガイドをご覧ください。

マルチマーキーに対応

1つのプレビュー（仮取り込み）画面上で複数の取り込み枠（マルチマーキー）を設定し、連続して取り込むことが可能です。例えば名刺を一面に並べ、一回の操作でまとめて取り込むことが可能です。



充実したヘルプ

EPSON TWAIN Proヘルプでは､各機能の詳細な説明はもちろん、取り込み手順・画質調整の基本手順などを説明しています。
ネットワーク環境では、各クライアントがEPSON TWAIN Pro Network上のヘルプボタンを押すだけで、上記の説明が得られるため便利です。

出力機器に合わせた最適な取り込み

画像を最終的に出力する機器（ディスプレイやプリンタ）に応じて、画像ファイルの解像度やアンシャープマスク設定などが最適に行われます。また、線数に応じた解像度設定を初期値として用意しました（取り込む画像の解像度は、50～9,600dpiの範囲で設定可能です）。

線画､文字原稿も高品位

TET（背景除去機能）により、文字の背景に色が付いている場合でも、文字のみを抽出して取り込むことが可能です。
また、AAS（自動領域分離機能）により、自動的に文字部分はモノクロで、画像部分は中間調処理をして取り込むことが可能です。

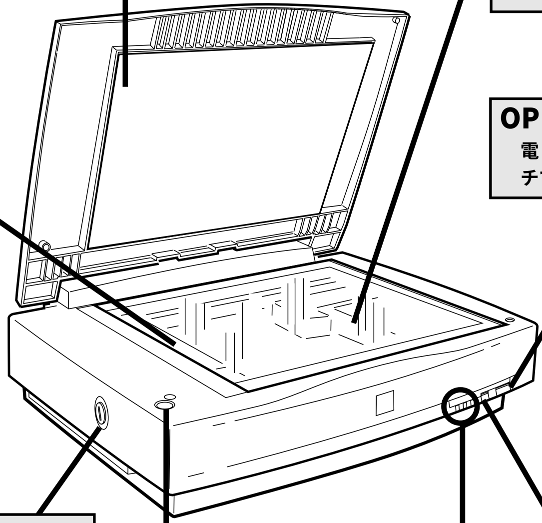
豊富な画質調整機能

強力な自動露出調整をはじめ、彩度、濃度などのさまざまな調整が可能です。
調整はプレビューウィンドウを見ながら行います。プレビュー画質は高品位/高速の選択が可能で、高品位では取り込み後の画像により近い品質が得られます。
また、印刷物のスキャニングで発生するモアレを除去する機能を用意しました。

各部の名称とはたらき

スキャナの各部の名称とその機能を示します。
スキャナのセットアップおよび操作にお役立てください。

前面



原稿カバー
一枚紙の原稿の時は､閉じて外部の光を遮ります。A3よりも大きい原稿をセットする時は、取り外すこともできます。

原稿台
原稿の取り込む面を下にして置きます。取り込み時の開始位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示すスケールが付いています。
最大取り込み領域は297mm×432mmです。

キャリッジ
原稿を照射する蛍光ランプが付いており、取り込み時に移動します。
取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションといいます。

OPERATEスイッチ
電源をオン/オフするスイッチです。

輸送用固定ノブ
輸送時にキャリッジが動かないように固定するためのノブです。スキャナの使用時はUNLOCKの位置に回します。LOCKの位置ではキャリッジが固定されるので、スキャナは動作できません。

スキャナビボタン
設定によっては、このボタンを押すだけで取り込み操作が可能です。ボタン押下後の処理は、設定によって変わります。

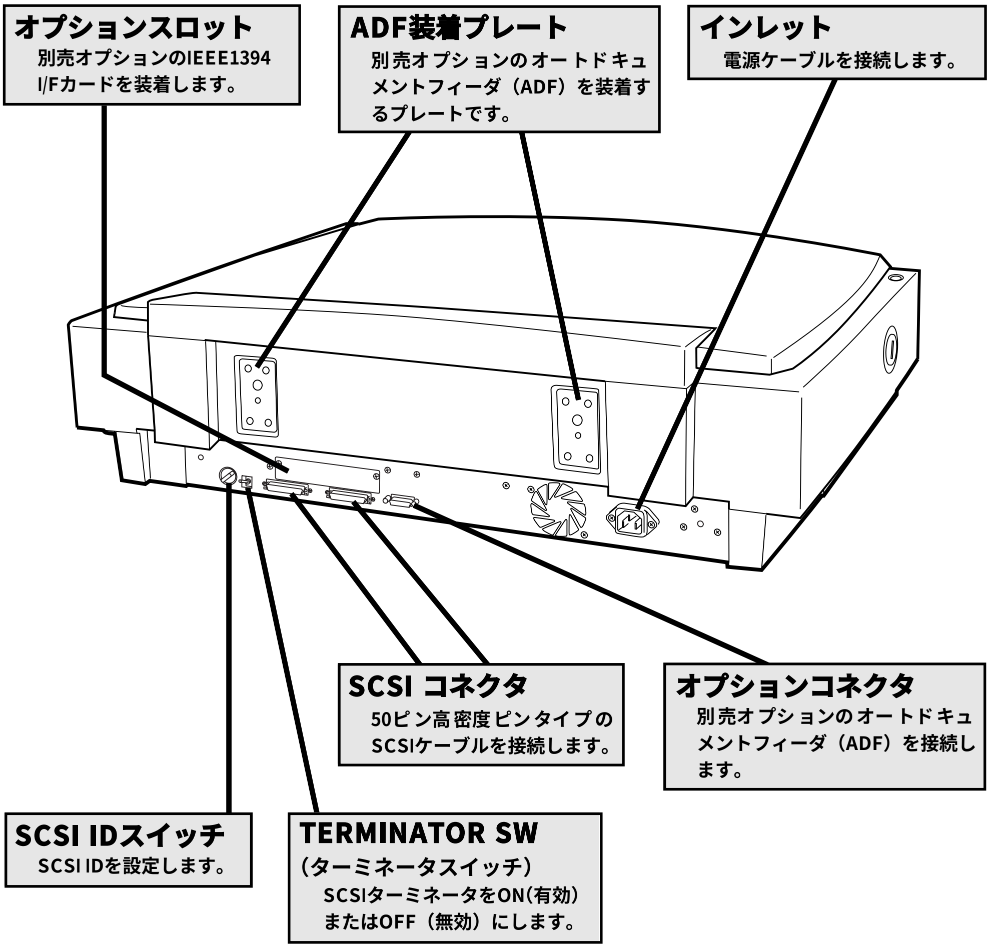
RESETスイッチ
スキャナをリセットします。エラーが発生した時などに使います。

ERRORランプ（赤）
スキャナにエラーが発生した時に、点灯または点滅します。

READYランプ（緑）
スキャナが取り込み動作可能な時に点灯します。エラーの種類によっては、このランプが点滅します。

OPERATEランプ（緑）
電源がオンの時に点灯します。

背面


オプションスロット
別売オプションのIEEE1394 I/Fカードを装着します。
ADF装着プレート
別売オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を装着するプレートです。
インレット
電源ケーブルを接続します。
SCSI コネクタ
50ピン高密度ピンタイプのSCSIケーブルを接続します。
オプションコネクタ
別売オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）を接続します。
SCSI IDスイッチ
SCSI IDを設定します。
TERMINATOR SW
（ターミネータスイッチ）
SCSIターミネータをON(有効)またはOFF（無効）にします。

本文中のマークと表記について

**マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。**

> 注意　**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。**

> ポイント　**お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。必ずお読みください。**

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
の表記について
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows Meと表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows Meを総称する場合は［Windows］、複数のWindowsを併記する場合は［Windows NT/95］のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Adobe、Adobe Photoshop、AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの各国での商標または登録商標です。
［Adobe Photoshop］および［Adobe Acrobat Reader］はAdobe Systems Incorporatedの著作物であり、これらにかかる著作権その他の権利はすべてAdobe Systems Incorporatedに帰属します。
PC-9801/9821シリーズおよびPC98-NXシリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、DOS/V、IBMはInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
Microsoft、WindowsおよびWindowsNTは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
Appleの名称、ロゴ、Macintosh、Power Macintosh、Mac、iMac、PowerBook、漢字Talk、ColorSync、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalkおよびTrueTypeはApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。
本書ではApple Computer, Inc.のiMacおよびPower Macintosh G3/G4を、接続の説明のために例示しています。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

MEMO

コンピュータとの接続

ここでは、スキャナとコンピュータをSCSI接続する手順について説明しています。

本章では、スキャナを速やかにお使いいただけるよう、一部の詳細な説明を省いています。
それらの詳細説明については、［付録］で説明しています。本章の中で詳細説明を省いている場合は、付録の参照ページをご案内しておりますので、必要に応じて付録をご覧ください。

電源の接続と動作の確認

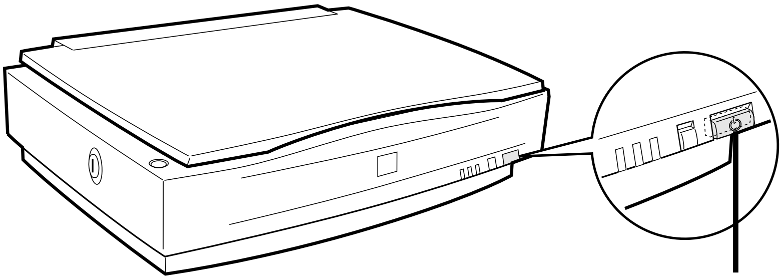
コンピュータと接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。

ポイント
設置に必要なスペース、設置上のご注意については以下のページをご確認ください。
「設置に必要なスペース」98 ページ
「設置上のご注意」99 ページ

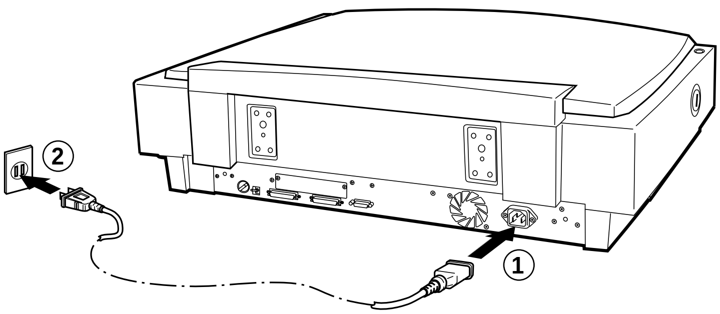
⚠注意

- **別冊の「安全にお使いいただくために/サービス・サポートのご案内」を参照の上、正しくお取り扱いください。**
- **長い間スキャナを使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

1 OPERATEスイッチがオフであることを確認します。
OPERATE スイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。もし、オンになっていたらオフにしてください。

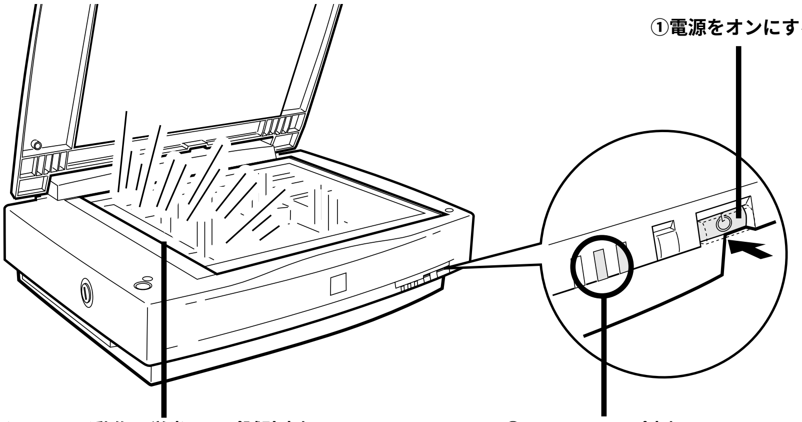


2 コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、電源ケーブルを接続します。
①電源ケーブルのコネクタ側をスキャナに差し込み、②プラグをコンセントに差し込みます。



3 **OPERATEスイッチを押して電源をオンにします。**

次の動作を確認してください。確認できれば正常です。
①電源をオンにした後、②キャリッジが少し動いて蛍光ランプ（白色）が試験点灯し、
③ READY ランプが点灯するか



> **ポイント**
> **－電源をオンにした時にERRORランプとREADYランプが点滅したら－**
> **これは、キャリッジが輸送用固定ノブで固定されているため、動作できないことを示します。電源をオフにしてから、キャリッジの固定を解除してください。**
> **「電源オンでエラーが出る」79 ページ**

4 **以上で動作確認は終了です。この後はコンピュータと接続するので、スキャナの電源をオフにしておきます。**

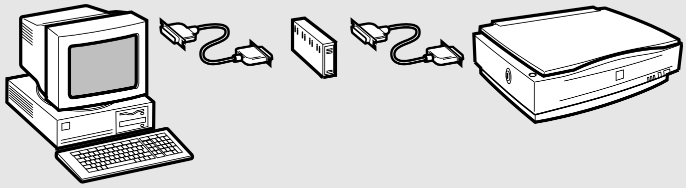
Windows をお使いの場合
「Windows PC との接続」14 ページ
Macintosh をお使いの場合
「Macintosh との接続」24 ページ

Windows PCとの接続

ここでは、スキャナとコンピュータとのSCSI接続について説明します。

ポイント

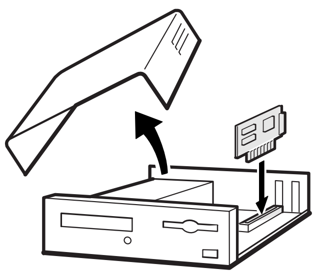
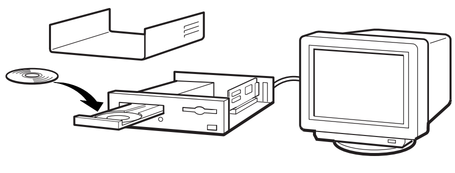
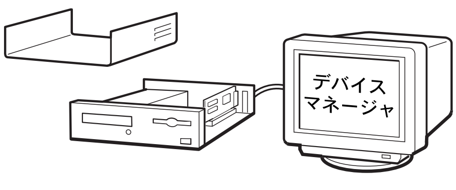
SCSI(スカジー)接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROMドライブなどの周辺装置を最大7台まで接続することを可能にします。
これらの機器はSCSI機器またはSCSIデバイスと呼ばれ、デイジーチェーン(数珠つなぎ式)で1台のコンピュータに接続できます。



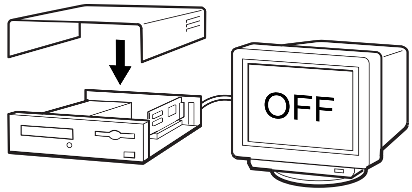
複数のSCSI機器を接続する場合は、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。
☞「SCSIボードとSCSIドライバの組み込み」16 ページ

SCSI接続の手順

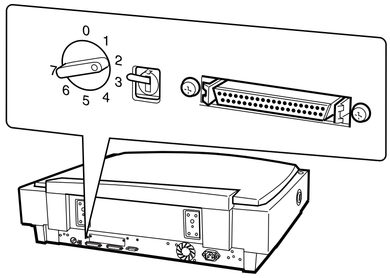
まず、SCSI接続手順の概要を説明します。詳細はそれぞれの参照先をご覧ください。

❶コンピュータの電源をオフにします。カバーを取り外して、SCSIボードを取り付けます。 ☞「SCSI ボードと SCSI ドライバの組み込み」16 ページ（詳細はコンピュータおよびSCSIボードの取扱説明書を参照）	
❷コンピュータの電源をオンにして、SCSIドライバを組み込みます。 この時、コンピュータのカバーはまだ取り付けないでください。 また、WindowsのCD-ROMが必要な場合があります。 ☞ SCSIボードの取扱説明書	
❸スキャナを接続する前に、SCSI ボードが正しく認識されたか確認します。 ☞「スキャナ接続前の確認」17 ページ	

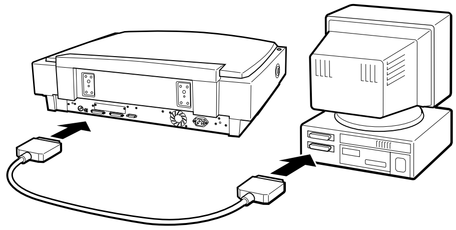
❹認識を確認したら、コンピュータの電源をオフにしてカバーを取り付けます。
☞ コンピュータの取扱説明書



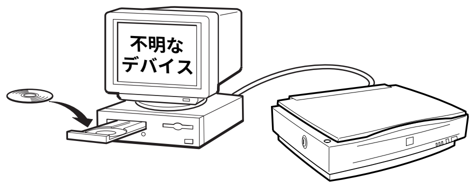
❺スキャナのSCSI IDとターミネータを設定します。
☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ



❻スキャナとコンピュータをSCSIケーブルで接続します。
☞「SCSIケーブルの接続」22 ページ



❼スキャナの電源をオンにしてから、コンピュータの電源をオンにします。
Windows 98をお使いの場合
☞「Windows 98でのインストール」33 ページ
Windows 95/NTをお使いの場合
☞「Windows 95/NTでのインストール」36 ページ
Windows 2000をお使いの場合
☞「Windows 2000でのインストール」43 ページ
Windows Meをお使いの場合
☞「Windows Me でのインストール」49 ページ



SCSIボードとSCSIドライバの組み込み

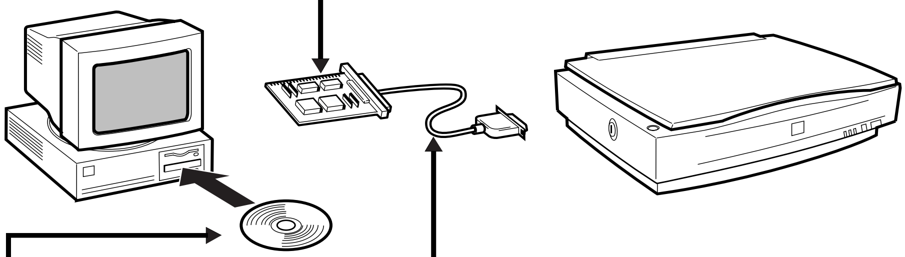
コンピュータに、エプソン推奨のSCSIボードを取り付け、SCSIドライバをインストールしてください。手順については、コンピュータとSCSIボードの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップコンピュータと接続する場合

SCSIボード：

エプソン推奨のSCSIボードをお使いください。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページで最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスをご確認の上、ご利用ください。

なお、推奨外のSCSIボードでは、スキャナの動作保証は致しかねますのでご注意ください。



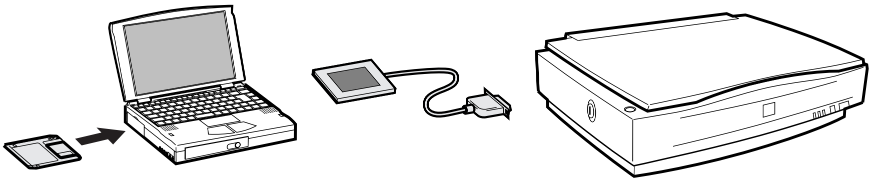
推奨SCSIケーブル			
型番	ケーブル仕様		
EPSON製 GTATSCCB3	**50ピン高密度ピンタイプ×50ピン高密度ピンタイプ(シールド型)**		

※ お使いのSCSIボードやSCSI機器によってコネクタ形状が異なりますので、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

SCSIドライバ：

WindowsのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをインストールしてください。

ノートブックコンピュータと接続する場合



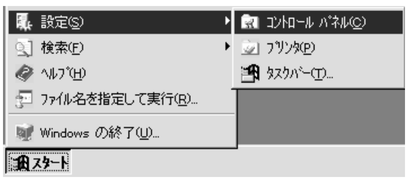
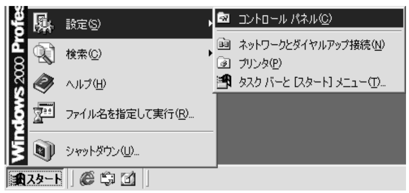
SCSIカードが別途必要となります。通常、SCSIカードにはSCSIケーブルとSCSIドライバが同梱されています。
動作確認しているSCSIカードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページで最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスをご確認の上、ご利用ください。

なお、動作確認外のSCSIカードでは、スキャナの動作保証は致しかねますのでご注意ください。

スキャナ接続前の確認

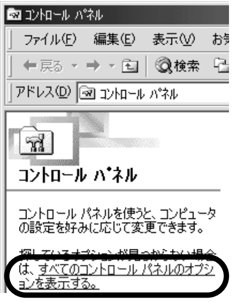
SCSIボードの取り付けとSCSIドライバのインストールが終了したら、スキャナを接続する前に、SCSIボードが正しく認識されたか確認することをお勧めします。

Windows95/98/2000/Meの場合

Windows95/98/Me	Windows2000
❶ **[スタート] ─ [設定] ─ [コントロールパネル]の順にクリックします。** 	❶ **[スタート] ─ [設定] ─ [コントロールパネル]の順にクリックします。** 

Windows95/98/Me

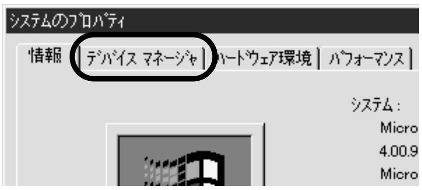
❷ Windows Me の場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。



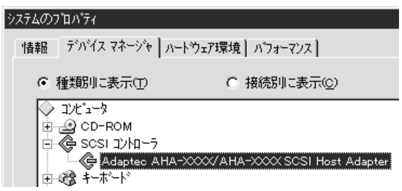
❸ [システム] アイコンをダブルクリックします。



❹ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。



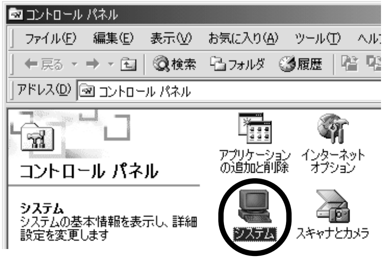
❺ SCSIコントローラの下に、お使いのSCSIボードが認識されているか確認します。



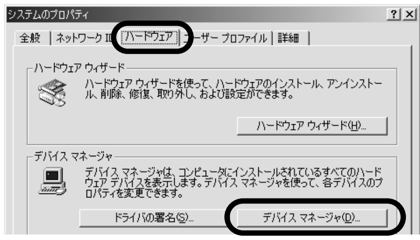
→次ページに続く

Windows2000

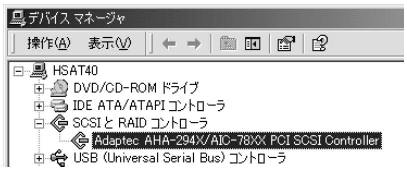
❷ [システム]アイコンをダブルクリックします。



❸ [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



❹ SCSIとRAIDコントローラの下に、お使いのSCSIボードが認識されているか確認します。



→次ページに続く

Windows95/98/Me	Windows2000
⑥SCSIボードが正しく認識されていることが確認できたら、以下のページに進んでください。 ☞「SCSI　IDとターミネータの設定」20ページ SCSIボードが認識されていない場合は、以下のページを参照して対処してください。 ☞「SCSI ボードが認識されない時は（NTを除く）」87 ページ	⑤SCSIボードが正しく認識されていることが確認できたら、以下のページに進んでください。 ☞「SCSI　IDとターミネータの設定」20 ページ SCSIボードが認識されていない場合は、以下のページを参照して対処してください。 ☞「SCSI ボードが認識されない時は（NTを除く）」87 ページ

WindowsNTの場合

WindowsNTでSCSI接続する場合、SCSIボードのメーカや型番などによって、固有の問題*があります。この内容はWindowsNTのreadmeファイルに記載されていますので、必ずお読みの上、対処してください。

readmeファイルが保存されている場所は、WindowsNTの取扱説明書に記載されています。

* ネットワークボードと、I/Oポートアドレスなどの設定が重複することがあります。また、SCSIケーブルやターミネータの種類に制限がある場合があります。

固有の問題を解決したら、WindowsNTの取扱説明書を参照し、SCSIドライバを組み込んでください。SCSIドライバが正しく組み込まれたかどうかは、次の手順で確認できます。

Windows NT4.0の場合

［コントロールパネル］の［SCSIアダプタ］をダブルクリックします。［ドライバ］タブをクリックすると、組み込まれているSCSIドライバ名が表示されます。

Windows NT3.51の場合

［メイン］グループの［Windows NTセットアップ］をダブルクリックします。

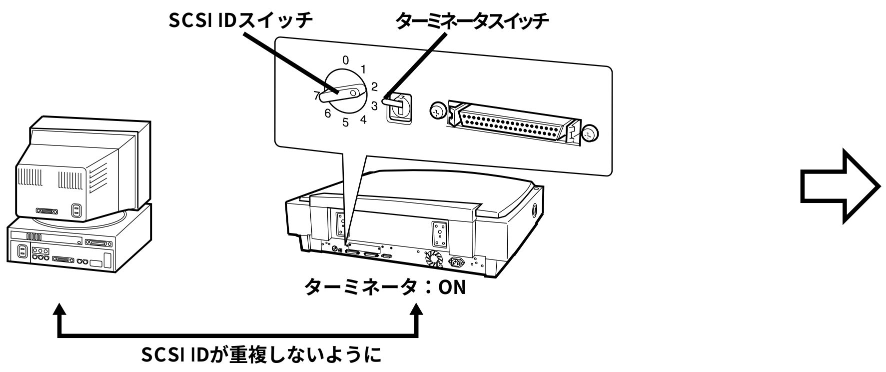
［設定］メニューから［SCSIアダプタの追加と削除］を選ぶと、組み込まれているSCSIドライバ名が表示されます。

ポイント

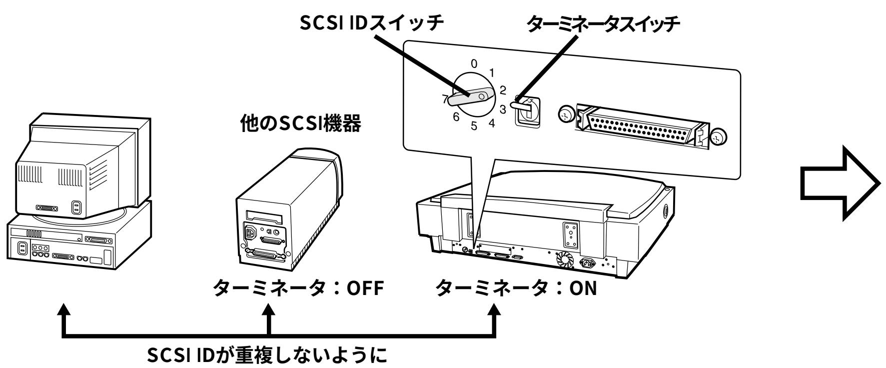
- **固有の問題を解決し、SCSIドライバが正しく組み込まれていることが確認できたら、以下のページに進んでください。**
  ☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ
- **SCSIドライバが正しく組み込まれていない場合は、WindowsNTの取扱説明書を参照して対処してください。**

SCSI IDとターミネータの設定

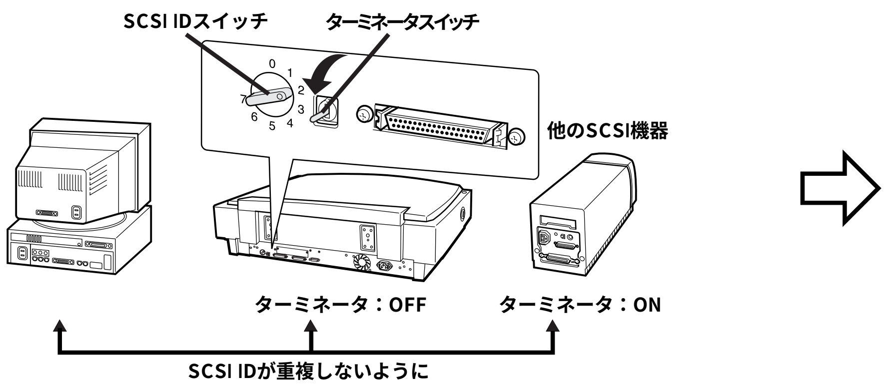
スキャナを単独で接続する場合



デイジーチェーンの終端に接続する場合

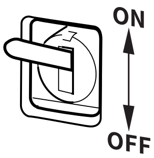


デイジーチェーンの途中に接続する場合



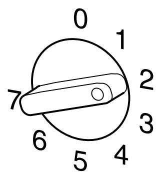
TERMINATOR SW (ターミネータ)：

出荷時設定（ON）のままでお使いください。
OFFにすると正常に動作しません。



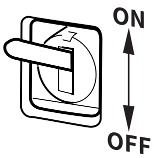
SCSI ID：

出荷時設定（ID=2）のままで使えます。
設定を変える必要はありません。



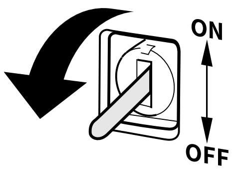
TERMINATOR SW (ターミネータ)：

出荷時設定（ON）のままでお使いください。
OFFにすると正常に動作しません。



TERMINATOR SW (ターミネータ)：

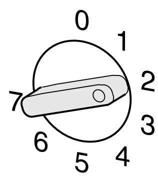
OFFにしてお使いください。ONのままだと正常に動作しません。



SCSI ID：

×印が付いていない番号の中で、他のSCSI機器が使用していない番号に設定します。
重複していると正常に動作しません。

ID	可否	備考
0		通常、ハードディスクなどで使用
1		通常、ハードディスクなどで使用
2		出荷時設定
3		
4		
5		
6		
7	×	通常、SCSIボードが使用

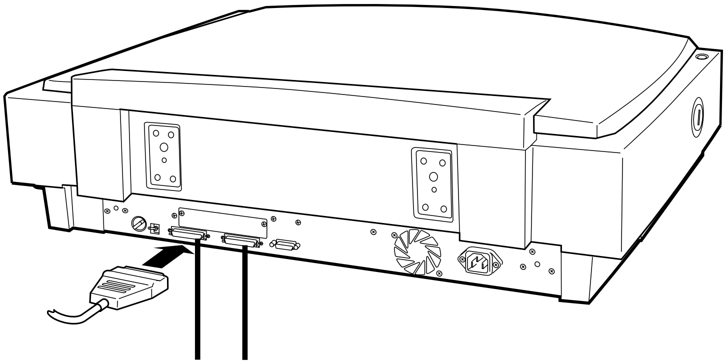


SCSIケーブルの接続

> 注意
> **接続する前に、コンピュータとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。**

1 SCSIケーブルを接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。



複数のSCSI機器を接続できますので、スキャナにはSCSIコネクタが2つあります。どちらのコネクタに接続してもかまいません。

2 ケーブルのもう一方を、コンピュータ（SCSIボード）や他のSCSI機器などに接続します。

これで接続は終了です。

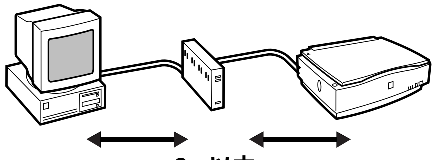
> ポイント
> **Windows 98をお使いの方へ**
> **SCSI接続してEPSON TWAIN Proをインストールした後に、スキャナのSCSI IDまたはSCSIボード（カード）を変更する場合は、下記の手順に従ってください。**
> **ユーザーズガイド（CD-ROM）「Windows 98でSCSI IDまたはボードを変更する時は」**

引き続き、ソフトウェアをインストールします。

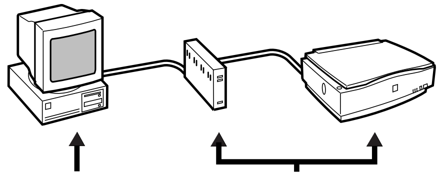
「ソフトウェアのインストール」31 ページ

SCSIの基礎知識

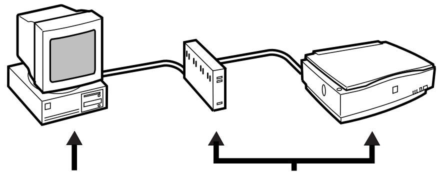
■ 複数のSCSI機器を接続する場合は、**デイジーチェーン全体のケーブル総延長を3メートル以内にしてください**。これ以上延長すると、SCSI機器全体の動作が不安定になることがあります。



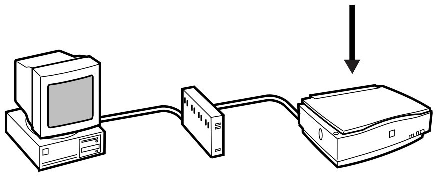
■ SCSI 機器を接続した場合は、**まずSCSI 機器から電源をオンにし、最後にコンピュータの電源をオンにしてください。**先にコンピュータの電源をオンにすると、SCSI機器が認識されません。また、コンピュータが正常に動作しないことがあります。



■ **電源をオフにする時は、まずコンピュータ、次にSCSI機器の順でオフにしてください。**

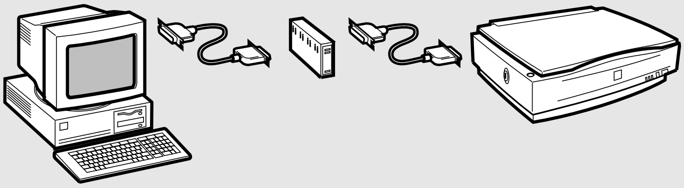


■ コンピュータの使用中は、ターミネータがON（有効）になっているSCSI機器の電源をオフにしないでください。また、コンピュータの使用中にスキャナの電源をオン／オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。



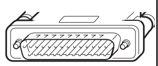
Macintoshとの接続

ここでは、スキャナとMacintoshとのSCSI接続について説明します。

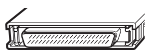
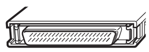
> ポイント
> **SCSI(スカジー)接続は、スキャナをはじめ、外付けハードディスク、CD-ROMドライブなどの周辺装置を最大7台まで接続することを可能にします。**
> **これらの機器はSCSI機器またはSCSIデバイスと呼ばれ、デイジーチェーン(数珠つなぎ式)で1台のMacintoshに接続できます。**
>
> 

SCSIケーブルについて

- デスクトップ型/タワー型のMacintoshと直接接続する場合は、以下のSCSIケーブルをお使いください。

推奨SCSIケーブル			
型番	ケーブル仕様		
EPSON製 GTMACSCCB1	D-Sub25ピン×50ピン高密度ピンタイプ(シールド型)		

- 複数のSCSI機器を接続する場合は、お使いのSCSI機器のコネクタに合うケーブルをお買い求めください。

推奨SCSIケーブル			
型番	ケーブル仕様		
EPSON製 GTATSCCB3	50ピン高密度ピンタイプ×50ピン高密度ピンタイプ(シールド型)		

- PowerBook（ノート型Macintosh）と接続する場合に使用するケーブルについては、PowerBookの取扱説明書をご覧ください。
  なお、動作確認しているSCSIケーブルについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページでご確認ください。FAX番号、エプソン販売のホームページアドレスは裏表紙にあります。

外部SCSI I/F非搭載のMacintoshをお使いの方へ

外部SCSI I/F非搭載のMacintoshをお使いの場合は、以下の説明に従ってください。

SCSIボード：

エプソン推奨のSCSIボードを別途ご購入いただき、Macintoshに装着してください。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページで最新の情報をご提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスをご確認の上、ご利用ください。
SCSIボードのセットアップ方法については、MacintoshおよびSCSIボードの取扱説明書をご覧ください。

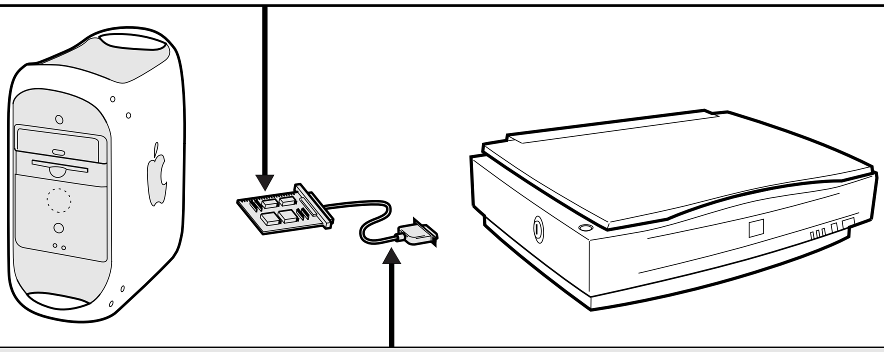
なお、推奨外のSCSIボードでは、スキャナの動作保証は致しかねますのでご注意ください。

SCSI I/F搭載のPower Macintosh G3(Blue and White)/G4をお使いの方へ：

次のSCSIボードでは、スキャナは使用できません（内蔵のSCSIハードディスクの性能が著しく低下します)。

- Power Macintosh G3(Blue and White)に標準搭載のSCSIボード
- Power Macintosh G4用BTOオプションのSCSIボード

エプソン推奨のSCSIボードを別途ご購入いただき、Power Macintosh G3(Blue and White)/G4に装着してください。

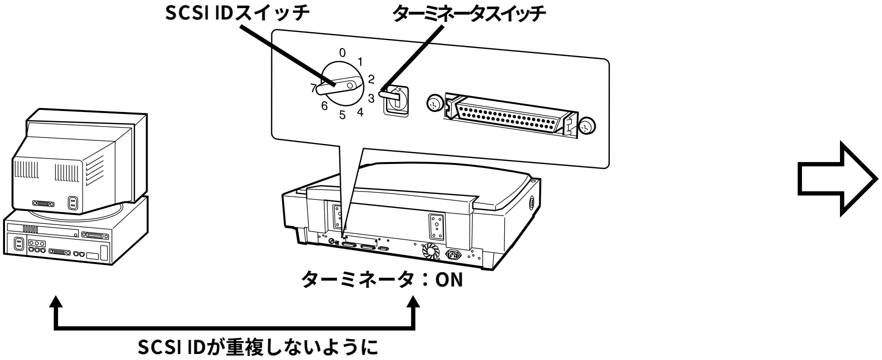


推奨SCSIケーブル			
型番	**ケーブル仕様**		
EPSON製 GTATSCCB3	**50ピン高密度ピンタイプ×50ピン高密度ピンタイプ(シールド型)**		

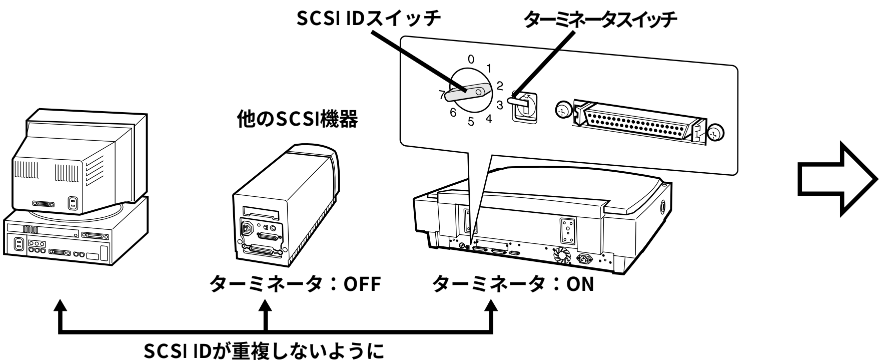
※ お使いのSCSIボードやSCSI機器によってコネクタ形状が異なりますので、お使いのSCSIボードやSCSI機器のコネクタに合うケーブルまたは交換コネクタをお買い求めください（エプソン販売のホームページで最新の情報をご提供しております。エプソン販売のホームページアドレスは裏表紙にあります）。

SCSI IDとターミネータの設定

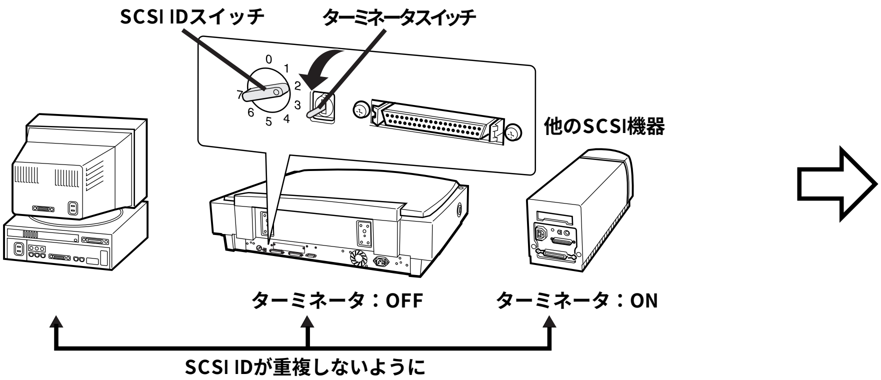
スキャナを単独で接続する場合



デイジーチェーンの終端に接続する場合

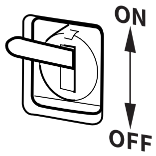


デイジーチェーンの途中に接続する場合



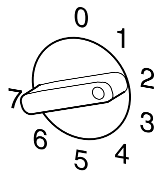
**TERMINATOR SW
(ターミネータ):**

出荷時設定（ON）のままでお使いください。OFFにすると正常に動作しません。



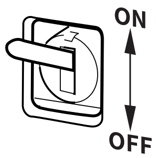
SCSI ID:

出荷時設定（ID=2）のままで使えます。
設定を変える必要はありません。



**TERMINATOR SW
(ターミネータ):**

出荷時設定（ON）のままでお使いください。OFFにすると正常に動作しません。

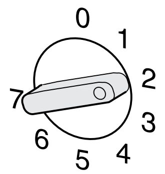


SCSI ID:

×印が付いていない番号の中で、他のSCSI機器が使用していない番号に設定します。重複していると正常に動作しません。

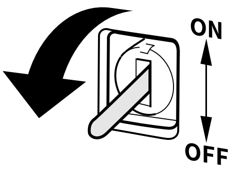
ID	可否	備考
0	×	ハードディスクで使用
1		通常、ハードディスクなどで使用
2		出荷時設定
3	×	MacintoshがCD-ROM内蔵でない場合は可
4		
5		MacintoshがZIPドライブ内蔵の場合は×
6		
7	×	Macintoshが使用

※本スキャナは SCSI マネージャ 4.3 に対応してますので、MacintoshがSCSIバス0（内蔵）とSCSIバス1（外付）を別系統として持っている場合、バス0で使用しているIDと重複しても問題ありません。



**TERMINATOR SW
(ターミネータ):**

OFFにしてお使いください。ONのままだと正常に動作しません。



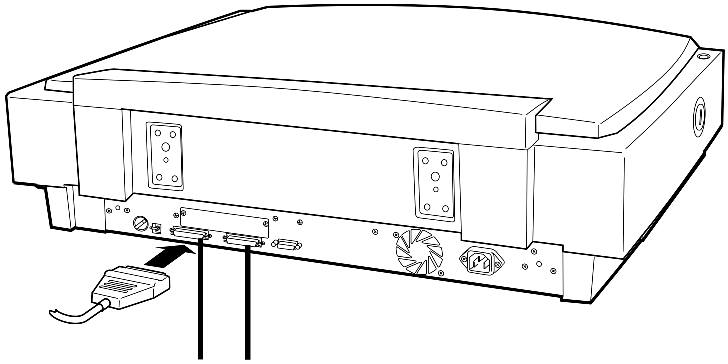
SCSIケーブルの接続

注意

接続する前に、Macintoshとスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

1 SCSIケーブルを接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。



2 ケーブルのもう一方を、Macintoshや他のSCSI機器に接続します。

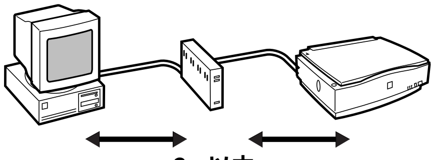
これで接続は終了です。

引き続き、ソフトウェアをインストールします。

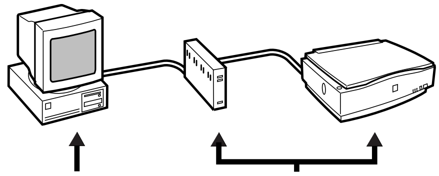
「Macintosh でのインストール」56 ページ

SCSIの基礎知識

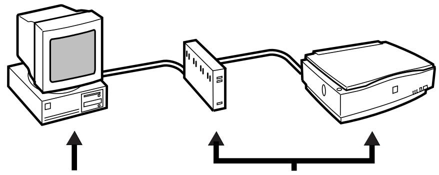
■ 複数のSCSI機器を接続する場合は、**デイジーチェーン全体のケーブル総延長を3メートル以内にしてください**。これ以上延長すると、SCSI機器全体の動作が不安定になることがあります。



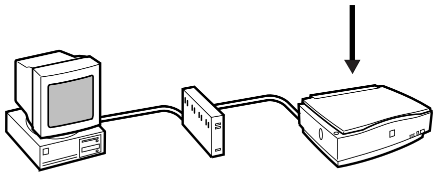
■ SCSI 機器を接続した場合は、**まずSCSI機器から電源をオンにし、最後にMacintoshの電源をオンにしてください。**先にMacintoshの電源をオンにすると、SCSI機器が認識されません。また、Macintoshが正常に動作しないことがあります。



■ **電源をオフにする時は、まず Macintosh、次にSCSI機器の順でオフにしてください。**



■ Macintoshの使用中は、ターミネータがON（有効）になっているSCSI機器の電源をオフにしないでください。また、Macintoshの使用中にスキャナの電源をオン／オフすると、正常に取り込みができなくなることがあります。



MEMO

ソフトウェアのインストール

ここでは、ソフトウェアをインストールする手順を説明しています。

本章では、スキャナを速やかにお使いいただけるよう、一部の詳細な説明を省いています。
それらの詳細説明については、[付録] で説明しています。本章の中で詳細説明を省いている場合は、付録の参照ページをご案内しておりますので、必要に応じて付録をご覧ください。

システム条件の確認

EPSON TWAIN Proを使用して画像を取り込むには、次の環境が必要です。

Windowsの場合

CPU		Pentium以上（MMX Pentium166MHz以上を推奨）
OS		• Windows 95/98/Me • Windows NT3.51/4.0 Workstation • Windows 2000 Professional このほかのOSでは使用できません。またWindows 95でも、16bit版のTWAIN対応アプリケーションでは使用できません。
表示	解像度	640×480ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨）
	色数	High Color（16ビット）以上 ※256色表示になっている場合、表示解像度を下げる（例：1,024×768→800×600）と、High Colorで表示できるようになります。
メモリ		カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します。 メモリ容量は、多いほど有利です。
ハードディスク		必要な容量は画像データによります。画像データ容量の目安を以下のページに記載していますので参考にしてください。 ☞「画像データ容量の目安」100 ページ
インターフェイス		エプソン推奨のSCSIボードを装着し、かつSCSIドライバが組み込まれていること。

Macintoshの場合

CPU		PowerPC（68,000系では使用不可）
OS		漢字Talk7.5.5以上またはMac OS 7.6以上（日本語版のみ）
表示	解像度	640×480ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨）
	色数	32,000色以上
メモリ		カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します。 メモリ容量は、多いほど有利です。
ハードディスク		必要な容量は画像データによります。画像データ容量の目安を以下のページに記載していますので参考にしてください。 ☞「画像データ容量の目安」100 ページ
メモリ割り当て		アプリケーションの推奨サイズ+取り込む画像データ容量の2倍以上を推奨。 ☞「エラーが出て画像を取り込めない」92 ページ

Mac OS 9をお使いの方へ

マルチユーザーのアカウントを［入］にしている環境での動作は保証致しかねます。
マルチユーザーのアカウントは、［切］にしてお使いください。

Windows 98でのインストール

EPSON TWAIN Proのインストール

1 **まずスキャナの電源をオンにし、次にコンピュータの電源をオンにします。**
必ず、この順番を守ってください。先にコンピュータの電源をオンにすると、スキャナが認識されません。

> ポイント
> **❷の画面が表示された後は、必ず、本書の手順に従ってインストールを完了させてください。途中で[キャンセル]ボタンをクリックするなどしてインストール作業を中断すると、正常にインストールできなくなる場合があります。**

2 **スキャナが新しいハードウェアとして認識されます。[次へ] ボタンをクリックします。**

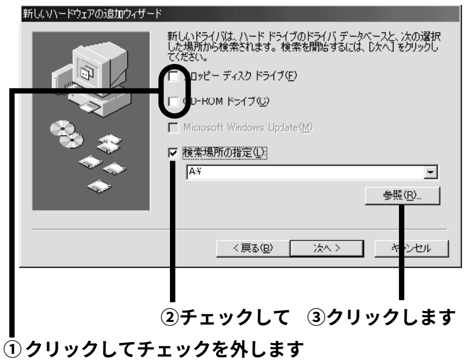


3 **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］が選択されていることを確認し、[次へ］ボタンをクリックします。**

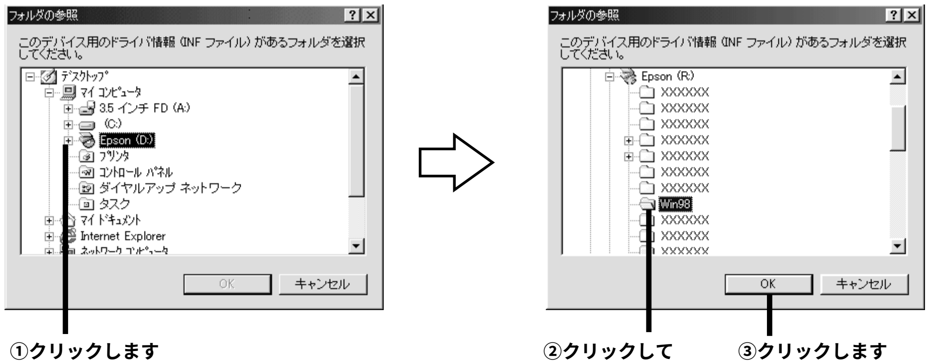


4 **ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットします。**

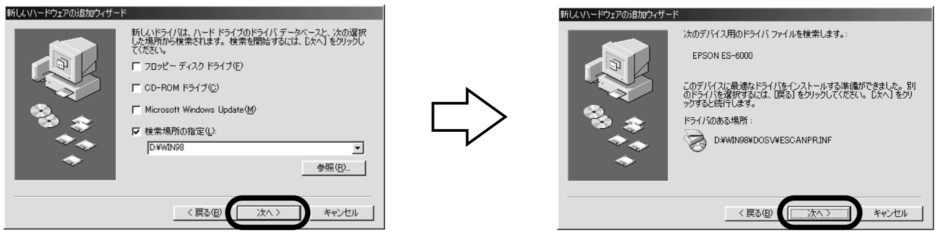
5 **①［フロッピーディスクドライブ］または［CD-ROMドライブ］のチェックを外します。②［検索場所の指定］をチェックして、③［参照］ボタンをクリックします。**



6 **①CD-ROMアイコン左の［+］をクリックします。②［Win98］フォルダをクリックし、③［OK］ボタンをクリックします。**



7 **左の画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックしてください。**



ファイルのコピー画面が表示され、情報ファイルやEPSON TWAIN Proなどがインストールされます。

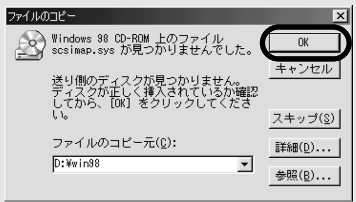
ポイント

右の画面が表示された場合は、ES-6000Hソフトウェア CD-ROMを取り出し、Windows 98のCD-ROMをセットして[OK]ボタンをクリックします。



Windows 98のCD-ROMから、必要なファイルがインストールされます。

CD-ROMドライブの準備ができていない場合は、右の画面が表示されます。この場合は、CD-ROMのアクセスランプが消灯してから[OK]ボタンをクリックしてください。



8 **［完了］ボタンをクリックします。**



これで EPSON TWAIN Pro のインストールは終了です。
なお、EPSON TWAIN Pro のインストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。
☞「インストールによって登録される内容」101 ページ

9 **引き続き、以下のページに進んでTWAIN対応アプリケーションをインストールしてください。**
☞「TWAIN 対応アプリケーションのインストール」52 ページ

Windows 95/NTでのインストール

Windows NTをお使いの方は、以下のページに進んでください。
☞「EPSON TWAIN Proのインストール」38 ページ

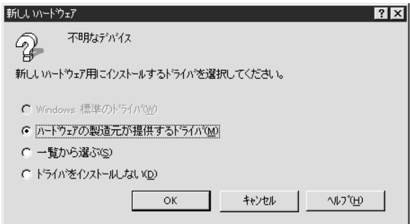
情報ファイルの組み込み（Windows 95）

Windows 95をお使いの場合、スキャナをSCSIで接続した後、はじめてコンピュータの電源をオンにすると、Windows 95のプラグ＆プレイ機能によりスキャナが認識されます。この時は、次の手順に従ってスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

1. **まずスキャナの電源をオンにします。次にコンピュータの電源をオンにし、Windows 95を起動します。**
   必ず、この順番を守ってください。先にコンピュータの電源をオンにすると、スキャナが認識されません。

2. **Windows 95のプラグ＆プレイ機能によりスキャナが認識されます。**
   この時に表示される画面が、Windows 95 のバージョンにより異なります。表示される画面に応じ、次の手順でスキャナの情報ファイルをインストールしてください。

[新しいハードウェア]の場合



① **ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットします。**

② **CD-ROMをセットすると下の画面が自動的に表示されますが、ここでは[終了]ボタンをクリックしてこの画面を閉じます。**



→次ページに続く

[デバイスドライバウィザード]の場合



① **ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットし、[次へ]ボタンをクリックします。**

② **CD-ROMをセットすると下の画面が自動的に表示されますが、ここでは[終了]ボタンをクリックしてこの画面を閉じます。**

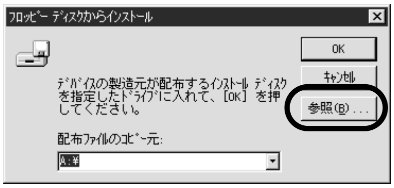


→次ページに続く

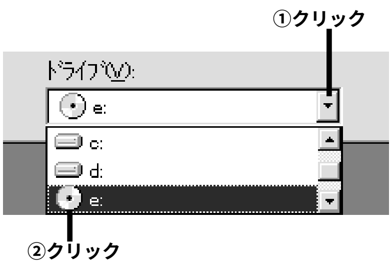
[新しいハードウェア]の場合

❸[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

❹[参照]ボタンをクリックします。



❺①[矢印]ボタンをクリックし、②CD-ROMドライブのアイコンをクリックします。



❻[Win95]フォルダをダブルクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



→次ページに続く

[デバイスドライバウィザード]の場合

❸しばらくして次の画面が表示されたら、[場所の指定]ボタンをクリックします。



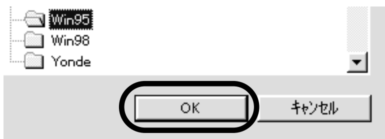
❹[参照]ボタンをクリックします。



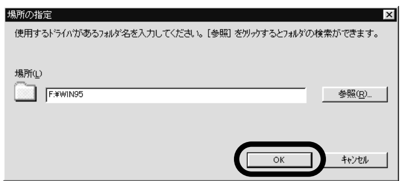
❺CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。



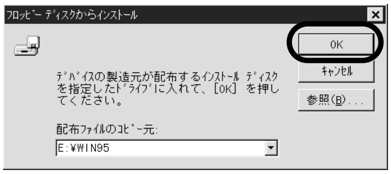
❻[Win95]フォルダをクリックして、[OK]ボタンをクリックします。



❼[OK]ボタンをクリックします。



→次ページに続く

[新しいハードウェア]の場合	[デバイスドライバウィザード]の場合
❼次の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。情報ファイルがインストールされます。  インストールが終了し、スキャナの情報ファイルがWindows 95のシステムに書き込まれます。	❽次の画面が表示されたら情報ファイルのインストールは終了ですので、[完了]ボタンをクリックします。  インストールが終了し、スキャナの情報ファイルがWindows 95のシステムに書き込まれます。
ここでインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア(EPSON TWAIN Pro など)はインストールされませんので、[EPSON TWAIN Proのインストール]に進んでインストールしてください。	ここでインストールされるのは、スキャナの情報ファイルのみです。画像の取り込みに必要なソフトウェア(EPSON TWAIN Pro など)はインストールされませんので、[EPSON TWAIN Proのインストール]に進んでインストールしてください。

EPSON TWAIN Proのインストール

1 **Windows 95の場合は、ES-6000Hソフトウェア CD-ROMをセットし直します。Windows NTの場合は、スキャナの電源をオンにし、Windows NTを起動してES-6000Hソフトウェア CD-ROMをセットします。**

Administrator の権限でログオンしておいてください。

2 **ソフトウェアCD-ROMをセットすると、しばらくしてから次の画面が自動的に表示されます。表示されたら、[ソフトウェアのインストール] をダブルクリックします。**

> **ポイント**
> **Window NT3.51の場合は次の画面が自動的に表示されませんので、下記の手順で起動してください。**
> **① プログラムマネージャの[アイコン]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選びます。**
> **② CD-ROM のドライブ名と実行コマンド(EPSETUP)を半角で入力し、[OK]ボタンをクリックします。**
> **CD-ROMドライブがDドライブの場合の入力例**
> **D:\EPSETUP**

ダブルクリックします



> **ポイント**
> **オンラインユーザー登録のお願い**
> **[オンラインユーザー登録]をダブルクリックすると、同梱されているお客様情報カードを使用せずに簡単にユーザー登録できますので、ぜひご活用ください。**

3 **①インストールするアプリケーションの名称をチェックし(次ページ参照)、② [セットアップ実行] ボタンをクリックしてインストールを実行します。**
リスト内で名称がチェック(✓) されているアプリケーションがインストールされます。不要な場合は、リスト内の名称をクリックしてチェックを外します。



①インストールするアプリケーションの名称をチェックして、　②クリックします

※次ページに、各ソフトウェアの説明があります。

スキャナを PC に直接接続して使用する場合は、次のアプリケーションが必要です。

ソフトウェア	説明
EPSON TWAIN Pro	スキャナを使用するために必要
PageManager Network Edition	スキャナビボタンの応用で必要
Acrobat Reader	TWAIN対応アプリケーションの取扱説明書(PDFファイル)を閲覧するために必要
EPSON Scan Server	不要(スキャナをネットワーク環境で利用する場合に必要なソフトウェアです。詳しくはネットワークガイドをご覧ください。)
EPSON TWAIN Pro Network	
他のアプリケーション	必要に応じてインストールしてください

4 最初にEPSON TWAIN Proのセットアッププログラムが起動しますので、[次へ]ボタンをクリックします。インストールがはじまります。



クリックします

5 EPSON TWAIN Proのインストールが終了すると左の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

[EPSON TWAIN Pro]画面(右の画面)が表示されます(Windows NT3.51 の場合は、画面が多少異なります)。



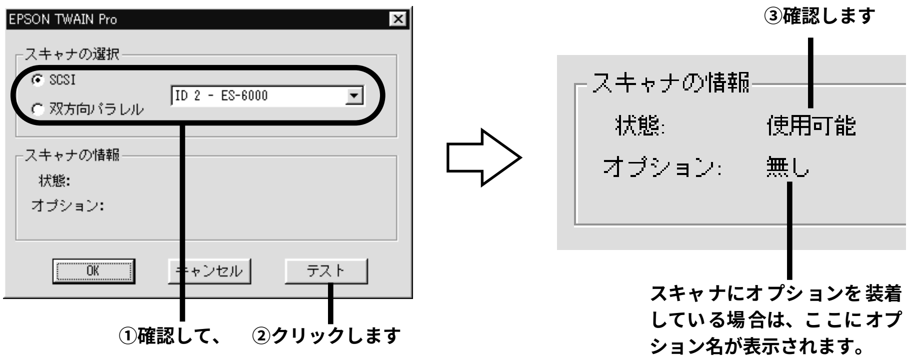
クリックします



この画面でスキャナの接続テストをしますので、スキャナのREADYランプが点灯しているか確認してください。

6 **①［スキャナの選択］項目でSCSIが選択されていて、［ID X - ES-6000］と表示されていることを確認し、②［テスト］ボタンをクリックします。**

③［スキャナの情報］項目の［状態］が、［使用可能］と表示されれば正常です。



- 次の場合はさまざまな原因が考えられますので、以下のページを参照して対処してください。
  - ［ID X - ES-6000］が表示されない場合
  - ［テスト］ボタンをクリックした結果、［使用不可］と表示された場合

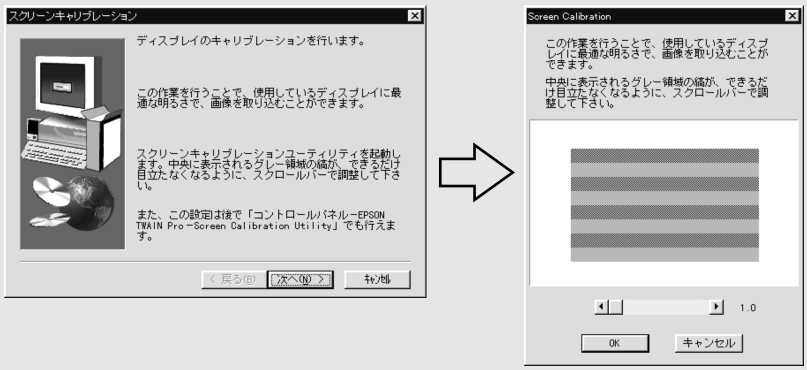
  「スキャナが認識されない」83 ページ

- 他のEPSONスキャナとデイジーチェーンしている場合、SCSI ID番号が小さい方の機種名が最初に表示されます。ES-6000が表示されていない場合は、矢印ボタンをクリックして表示させ、選択してください。

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

ポイント

Windows NT3.51をお使いの場合は左の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
右の画面が表示されたら、スクロールバーをグレーの横縞が一番目立たない位置に動かし、[OK]ボタンをクリックしてください。詳しくは、画面上の説明をご覧ください。



8 **[インストールが終了しました]と表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。**
これで EPSON TWAIN Pro のインストールは終了です。
なお、EPSON TWAIN Pro のインストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。
☞「インストールによって登録される内容」101 ページ

TWAIN対応アプリケーションのインストール

1 **この後は、アプリケーションのインストールが1つずつ進みます。画面の指示に従ってインストールを進めてください。**
インストールの手順で不明なことがありましたら、ソフトウェア CD-ROM 収録のアプリケーションガイドをご覧いただくか、または各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。アプリケーションメーカーの連絡先は、別冊「アプリケーションのお問い合わせ先一覧」に記載されています。

2 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。**
これでセットアップが終了しました。

コンピュータが再起動したら、以下のページに進んでください。
☞「画像の取り込み」59 ページ

Windows 2000でのインストール

Windows NT/95/98から2000にアップデートする方へ

Windows NT/95/98環境でEPSON TWAIN Proをインストール済みで、その後Windows 2000にアップデートする場合は、必ず以下の手順に従ってください。

> **ポイント** **以下の手順に従わずにアップデートすると、スキャナが不完全なデバイスとして登録され、使用できなくなります。必ず、手順を守ってください。**

1 EPSON TWAIN Proの削除

Windows をアップデートする前に、必ず EPSON TWAIN Pro を削除しておいてください。削除方法については、下記をご覧ください。

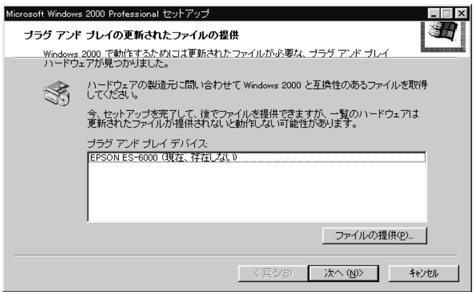
☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「EPSON TWAIN Pro の再インストール」

2 スキャナをコンピュータから取り外す

EPSON TWAIN Pro を削除したら、コンピュータとスキャナの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。

3 コンピュータを起動してWindowsをアップデート

Windows のアップデート中に次の画面が表示された場合は、［次へ］ボタンをクリックしてください（ここでファイルを更新する必要はありません）。



4 スキャナを接続してEPSON TWAIN Proをインストール

詳しくは、次ページ以降をご覧ください。

EPSON TWAIN Proのインストール

Windows 2000でのインストール方法は、スキャナをお使いの環境により2通りに分けられます。該当する説明をご覧ください。

■次の場合、スキャナが新しいハードウェアとして認識されますので、**プラグ & プレイにより**インストールします。

- Windows 2000プレインストール版のコンピュータをお使いで、はじめてスキャナを接続した場合
- Windows NTからWindows 2000にアップデートした場合
- EPSON TWAIN ProをインストールしていないWindows 95/98から Windows 2000にアップデートした場合

■次の場合、スキャナは新しいハードウェアとして認識されませんので、**ドライバの更新により**インストールします。

- Windows 95/98環境でEPSON TWAIN Proをインストールしてスキャナを使用後、EPSON TWAIN Proを削除してWindows 2000にアップデートした場合

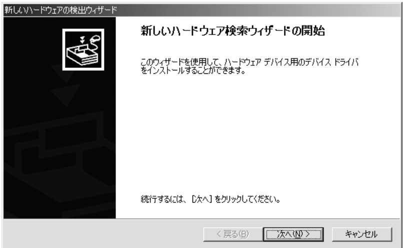
ポイント

EPSON TWAIN Proをインストールする際は、必ず本書の手順に従って完了させてください。途中で[キャンセル]ボタンをクリックするなどしてインストール作業を中断すると、正常にインストールできなくなる場合があります。

プラグ&プレイでのインストール	ドライバの更新によるインストール
① スキャナとコンピュータを接続します。スキャナの電源をオンにし、次にコンピュータの電源をオンにします。 **• 必ず、この順番を守ってください。先にコンピュータの電源をオンにすると、スキャナが認識されません。** **• Administrator の権限でログオンしておいてください。**	**① スキャナとコンピュータを接続します。スキャナの電源をオンにし、次にコンピュータの電源をオンにします。** **• 必ず、この順番を守ってください。先にコンピュータの電源をオンにすると、スキャナが認識されません。** **• Administrator の権限でログオンしておいてください。**

プラグ&プレイでのインストール

❷ スキャナが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます（しばらく時間がかかります）。



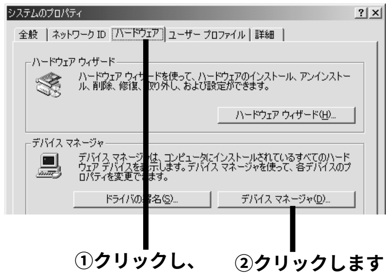
この画面が表示されたら、❻ に進んでください。

ドライバの更新によるインストール

❷ ①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、②[プロパティ]を選択します。



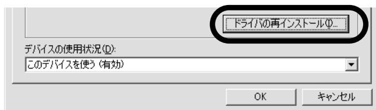
❸ ①[ハードウェア]タブをクリックし、②[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



❹ イメージングデバイスの下の
[! EPSON ES-6000]をダブルクリックします。

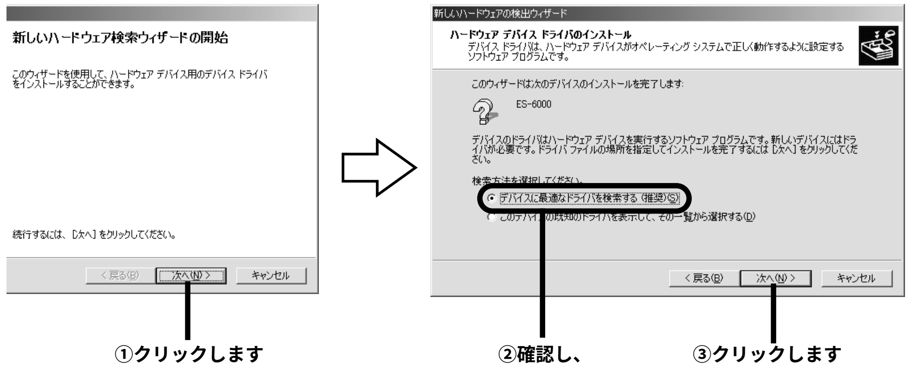


❺ [ドライバの再インストール]ボタンをクリックします。



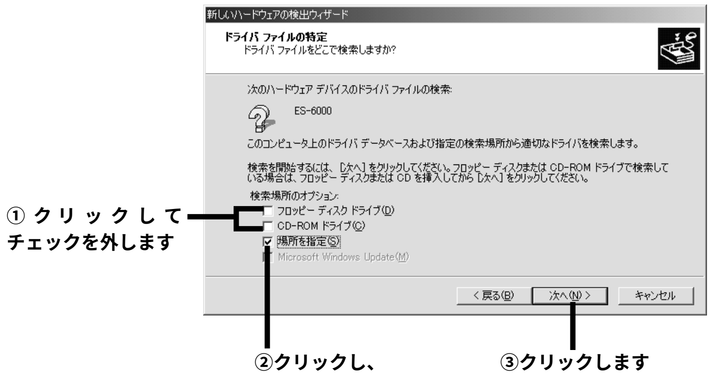
プラグ&プレイでのインストール	ドライバの更新によるインストール

❻ ①[次へ] ボタンをクリックします。② [デバイスに最適なドライバを検索する]が選択されていることを確認し、③ [次へ]ボタンをクリックします。

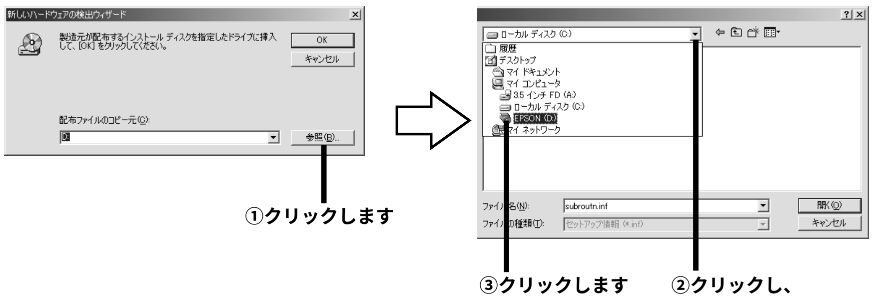


❼ES-6000Hソフトウェア CD-ROMをセットします。
しばらくすると、[EPSON インストールプログラム] 画面が表示されますが、ここでは [終了]ボタンをクリックしてください。

❽ ①[フロッピーディスクドライブ] または [CD-ROMドライブ]のチェックを外します。②[場所を指定]をクリックし、③[次へ]ボタンをクリックします。

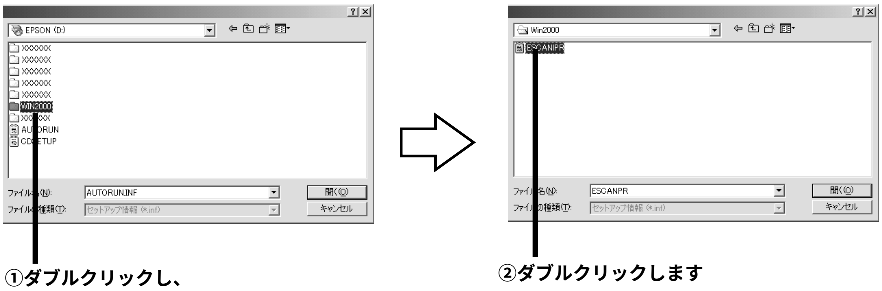


❾ ①[参照] ボタンをクリックします。② [▼]ボタンをクリックし、③CD-ROM アイコンをクリックします。

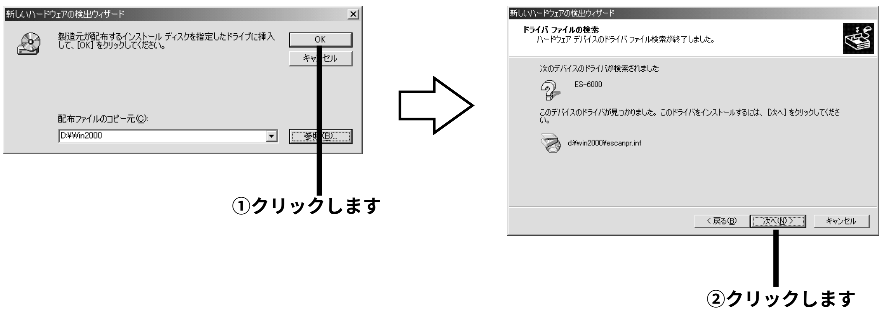


プラグ&プレイでのインストール	ドライバの更新によるインストール

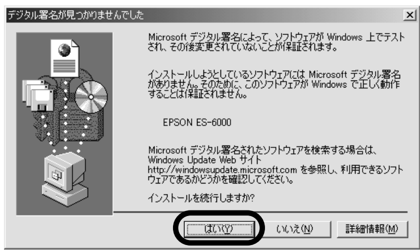
⑩ ①[WIN2000]フォルダをダブルクリックし、②[ESCANPR]をダブルクリックします。



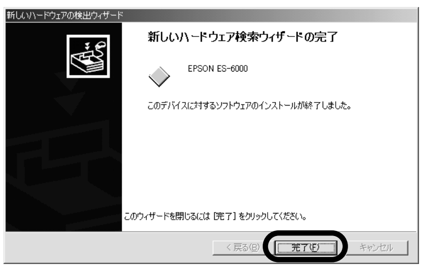
⑪ 左の画面が表示されたら、① [OK]ボタンをクリックします。しばらくすると右の画面が表示されますので、② [次へ]ボタンをクリックします。



⑫ 右の画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。
ファイルのコピー画面が表示され、EPSON TWAIN Proがインストールされます。

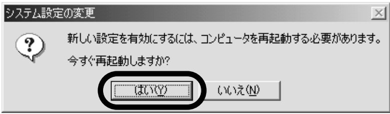


⑬ 右の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックしてください。



プラグ&プレイでのインストール

⑭次の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



これでEPSON TWAIN Proのインストールは終了です。

なお、EPSON TWAIN Proのインストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。

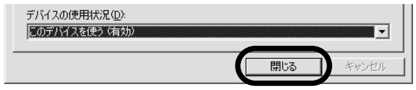
☞「インストールによって登録される内容」101 ページ

⑮引き続き、以下のページに進んでTWAIN対応アプリケーションをインストールしてください。

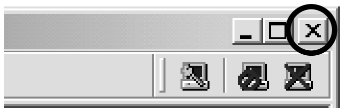
☞「TWAIN対応アプリケーションのインストール」52 ページ

ドライバの更新によるインストール

⑭次の画面が表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックします。

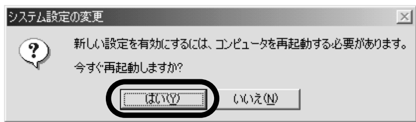


⑮[デバイスマネージャ]画面に戻りますので、[×]ボタンをクリックします。



⑯[システムのプロパティ]画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。

⑰次の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



これでEPSON TWAIN Proのインストールは終了です。

なお、EPSON TWAIN Proのインストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。

☞「インストールによって登録される内容」101 ページ

⑱引き続き、以下のページに進んでTWAIN対応アプリケーションをインストールしてください。

☞「TWAIN対応アプリケーションのインストール」52 ページ

Windows Meでのインストール

Windows 98/95からWindows Meにアップデートする方へ

Windows 98/95環境でEPSON TWAIN Proをインストール済みで、その後Windows Meにアップデートする場合は、必ず以下の手順に従ってください。

> ポイント
> **以下の手順に従わずにアップデートすると、スキャナが不完全なデバイスとして登録され、使用できなくなります。必ず、手順を守ってください。**

1 EPSON TWAIN Proの削除

Windows をアップデートする前に、必ず EPSON TWAIN Pro を削除しておいてください。削除方法については、下記をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「EPSON TWAIN Pro の再インストール」

2 スキャナをコンピュータから取り外す

EPSON TWAIN Pro を削除したら、コンピュータとスキャナの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。

3 コンピュータを起動してWindowsをアップデート

アップデートの方法は、Windows Me の取扱説明書をご覧ください。

4 スキャナを接続してEPSON TWAIN Proをインストール

詳しくは以下の手順をご覧ください。

EPSON TWAIN Proのインストール

> ポイント
> **EPSON TWAIN Proのインストールは、必ず本書の手順に従って完了させてください。途中で[キャンセル]ボタンをクリックするなどしてインストール作業を中断すると、正常にインストールできなくなる場合があります。**

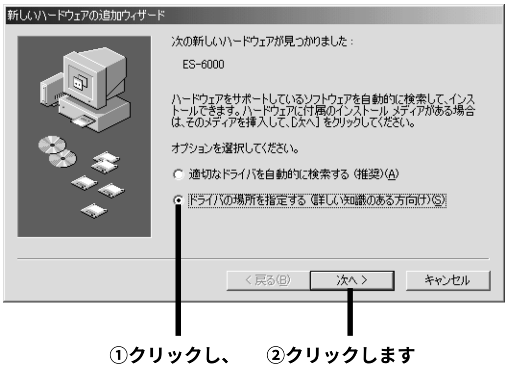
1 スキャナの電源をオンにし、次にコンピュータの電源をオンにします。

必ず、この順番を守ってください。先にコンピュータの電源をオンにすると、スキャナが認識されません。

2 スキャナが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます(しばらく時間がかかります)。



3 **①［ドライバの場所を指定する］をクリックし、②［次へ］ボタンをクリックします。**



4 **ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットします。**

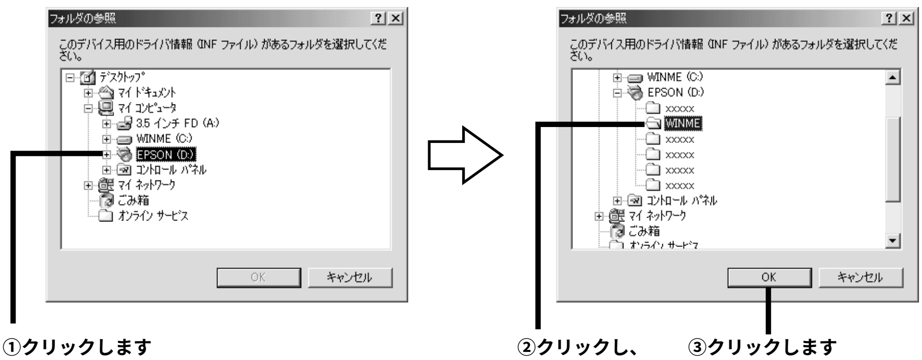
［EPSON インストールプログラム］画面が表示された場合は、［終了］ボタンをクリックしてください。

5 **①［リムーバブル　メディア］のチェックを外します。②［検索場所の指定］をクリックし、③［参照］ボタンをクリックします。**



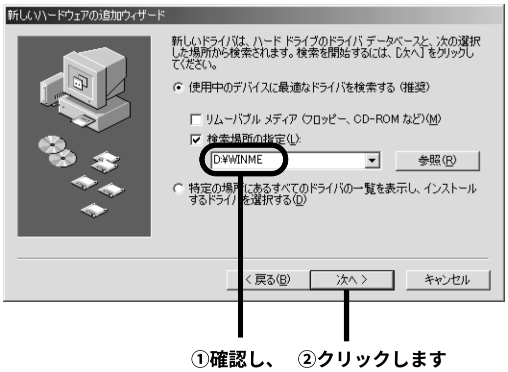
6 **①CD-ROMアイコン左の［+］をクリックします。②［WINME］フォルダをクリックし、③［OK］ボタンをクリックします。**

(画面は例です)



7 **① [○:WINME] と表示されていることを確認し、② [次へ] ボタンをクリックします。**

「○」にはお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブ名が表示されます(画面は D ドライブの例です)。



8 **右の画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。EPSON TWAIN Proのインストールが始まります。**



9 **右の画面が表示されたらインストールは終了です。[完了] ボタンをクリックします。**



10 **コンピュータを再起動します。**

> **ポイント** **必ず、コンピュータを再起動してください。再起動するまでスキャナは使用できません。**

これで EPSON TWAIN Pro のインストールは終了です。

11 **引き続き、以下のページに進んでTWAIN対応アプリケーションをインストールしてください。**

☞「TWAIN 対応アプリケーションのインストール」52 ページ

TWAIN対応アプリケーションのインストール

Windows 98/2000/Meをお使いの場合は、次の手順でTWAIN対応アプリケーションをインストールしてください。

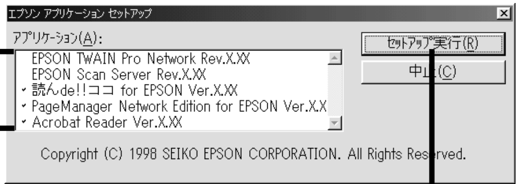
1 **ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットし直します。**
しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、[ソフトウェアのインストール]をダブルクリックします。



ダブルクリックします

ポイント
オンラインユーザー登録のお願い
[オンラインユーザー登録]をダブルクリックすると、同梱されているお客様情報カードを使用せずに簡単にユーザー登録できますので、ぜひご活用ください。

2 **①インストールするアプリケーションの名称をチェックし（下表参照）、②　[セットアップ実行］ボタンをクリックしてインストールを実行します。**
リスト内で名称がチェック（✔）されているアプリケーションがインストールされます。不要な場合は、リスト内の名称をクリックしてチェックを外します。



①インストールするアプリケーションの名称をチェックして、　②クリックします

スキャナを PC に直接接続して使用する場合は、次のアプリケーションが必要です。

ソフトウェア	説明
PageManager Network Edition	スキャナビボタンの応用で必要
Acrobat Reader	TWAIN対応アプリケーションの取扱説明書（PDFファイル）を閲覧するために必要
EPSON Scan Server	不要（スキャナをネットワーク環境で利用する場合に必要なソフトウェアです。詳しくはネットワークガイドをご覧ください。）
EPSON TWAIN Pro Network	
他のアプリケーション	必要に応じてインストールしてください

3 **この後は、アプリケーションのインストールが1つずつ進みます。画面の指示に従ってインストールを進めてください。**

インストールの手順で不明なことがありましたら、ソフトウェア CD-ROM 収録のアプリケーションガイドをご覧いただくか、または各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。アプリケーションメーカーの連絡先は、別冊「アプリケーションのお問い合わせ先一覧」に記載されています。

4 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。**

コンピュータが再起動したら、接続を確認してください。

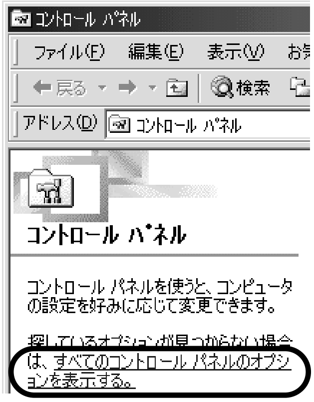
☞「接続の確認」54 ページ

接続の確認

Windows 98/2000/Meをお使いの場合は、スキャナのREADYランプが点灯しているか確認した後、以下の手順でスキャナの接続を確認してください。

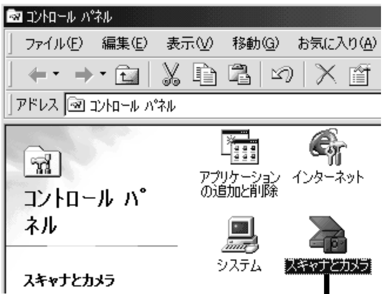
1. ［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

2. Windows Meの場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。



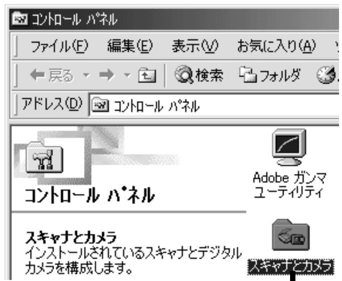
3. ［スキャナとカメラ］を開きます。

Windows 98/2000



ダブルクリックします

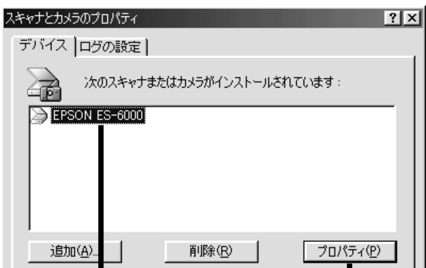
Windows Me



ダブルクリックします

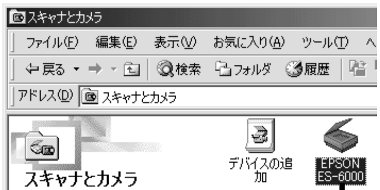
4. ［EPSON ES-6000のプロパティ］を開きます。

Windows 98/2000



クリックして、　クリックします

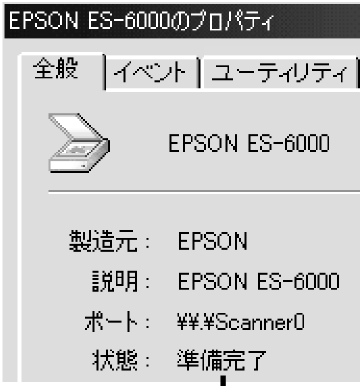
Windows Me



ダブルクリックします

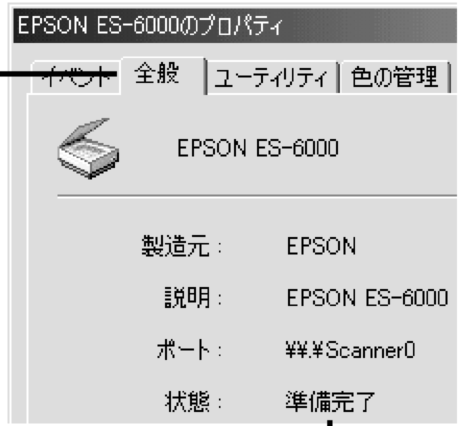
5 ［全般］画面の［状態］の表示を確認します。

Windows 98/2000



確認します（下表参照）

Windows Me



クリックして、

確認します（下表参照）

表示	説明
[準備完了]	スキャナが正しく接続されています。[OK] ボタンをクリックし、コントロールパネルを閉じてください。
[使用不可] または [オフライン]	スキャナとの接続、またはインターフェイスの設定が正しくありません。 この場合はさまざまな原因が考えられます。以下のページを参照して対処してください。 ☞「スキャナが認識されない」83 ページ

これでセットアップが終了しました。

この後は、以下のページに進んでください。

☞「画像の取り込み」59 ページ

Macintoshでのインストール

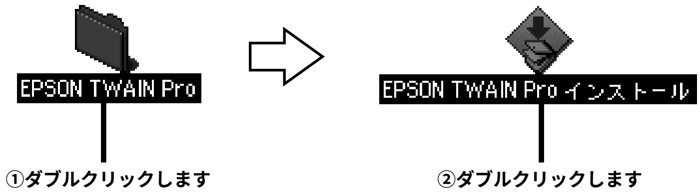
ソフトウェアをインストールする時は、アンチウィルスソフトなどの、起動中のすべてのアプリケーションを閉じておいてください。アプリケーションが起動していると、エラーが出てインストールが正常終了しない場合があります。

EPSON TWAIN Proのインストール

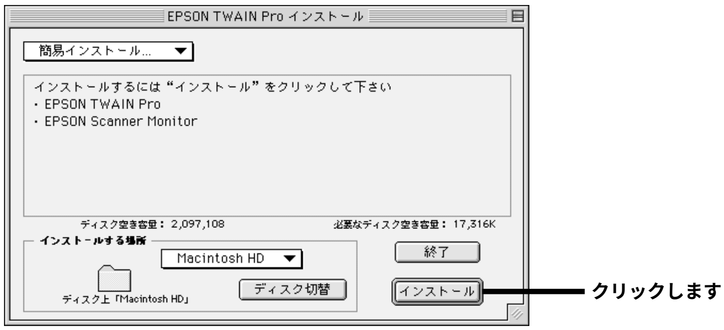
1 **スキャナの電源をオンにします。**

2 **Macintoshを起動し、ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットします。**

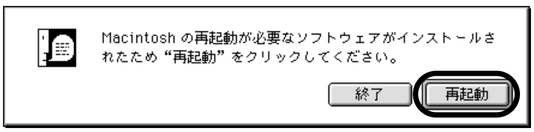
3 **①［EPSON TWAIN Pro］フォルダをダブルクリックして開き、②［EPSON TWAIN Proインストール］アイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。**



4 **［インストール］ボタンをクリックしてインストールを実行します。**



5 **次の画面が表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。**



これで EPSON TWAIN Pro のインストールは終了です。
引き続き、TWAIN 対応アプリケーションをインストールしてください。

なお、EPSON TWAIN Pro のインストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。

☞「インストールによって登録される内容」101 ページ

ポイント

複数のEPSONスキャナをお持ちの方へ
1台のMacintoshに複数台のEPSONスキャナを接続して使用する場合、使用するスキャナをコントロールパネルで選択する必要があります。詳しくは以下のページをご覧ください。
☞「コントロールパネル」104 ページ

TWAIN対応アプリケーションのインストール

ポイント

Presto! PageManagerとAcrobat Readerは、必ずインストールしてください。

- **Presto! PageManagerは、スキャナビボタンを応用するために必要なTWAIN対応アプリケーションです。**
- **Acrobat Reader は、TWAIN 対応アプリケーションの取扱説明書（PDF ファイル）を閲覧するために必要なアプリケーションです。**

1 ［TWAIN対応アプリケーション］フォルダをダブルクリックして開き、インストールするアプリケーションのフォルダをダブルクリックして開きます。

ポイント

フォルダの中に［はじめにお読みください］ファイルがある場合は、そのファイルをダブルクリックし、インストールする前に必ず内容をお読みください。インストールや使用上のご注意が書かれています。

2 インストーラのアイコンをダブルクリックし、インストーラを起動します。
インストーラがない場合は、アプリケーション本体のアイコンを Macintosh HD などにドラッグしてコピーしてください。

3 ［インストール］や ［OK］などのボタンをクリックしてインストールを実行します。
この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。インストールの手順で不明なことがありましたら、ソフトウェア CD-ROM 収録のアプリケーションガイドをご覧いただくか、または各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

4 複数のアプリケーションをインストールする場合は、それぞれ①～③の操作を繰り返します。

5 インストールが終了したら、Macintoshを再起動してください。
必ず、Macintosh を再起動してください。再起動しないとスキャナおよびアプリケーションが使用できない場合があります。

これでセットアップが終了しました。
Macintosh が再起動したら、以下のページに進んでください。
☞「画像の取り込み」59 ページ

MEMO

画像の取り込み

ここでは、画像を取り込む手順を説明しています。

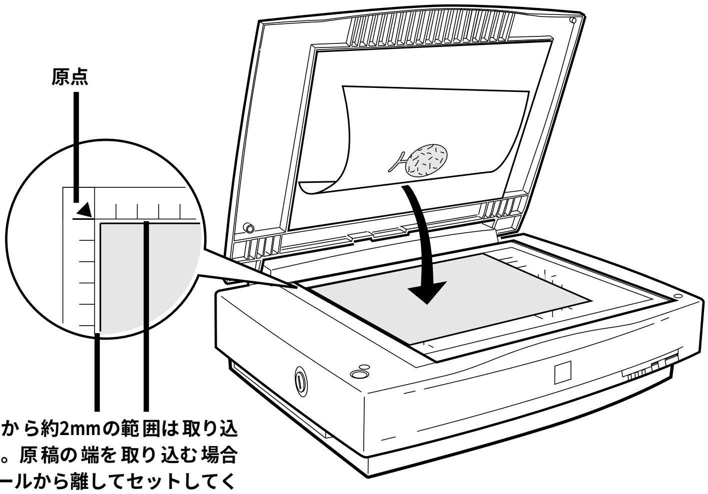
原稿のセット

1 **原稿カバーを開きます。原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

原点を合わせてまっすぐにセットしてください。

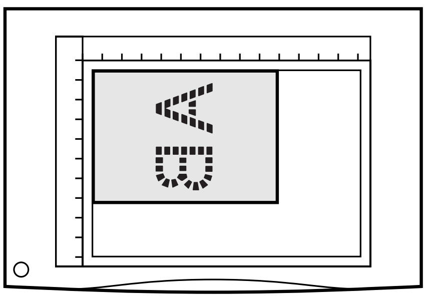
使用できる原稿のサイズや、原稿台よりも大きい原稿のセット方法については、以下のページで説明しています。

☞「使用できる原稿」105 ページ

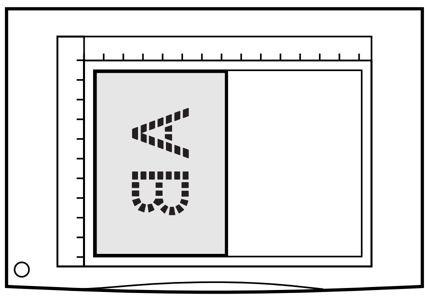


A4 サイズ以下の原稿は、次の向きでセットしてください。

縦長原稿の場合

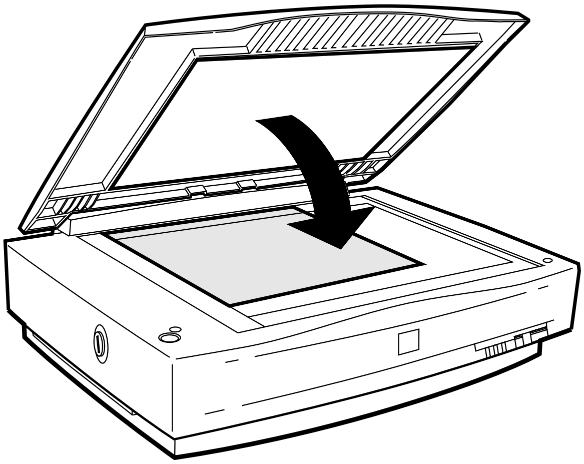


横長原稿の場合



2 原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿カバーは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めに取り込まれてしまいます。

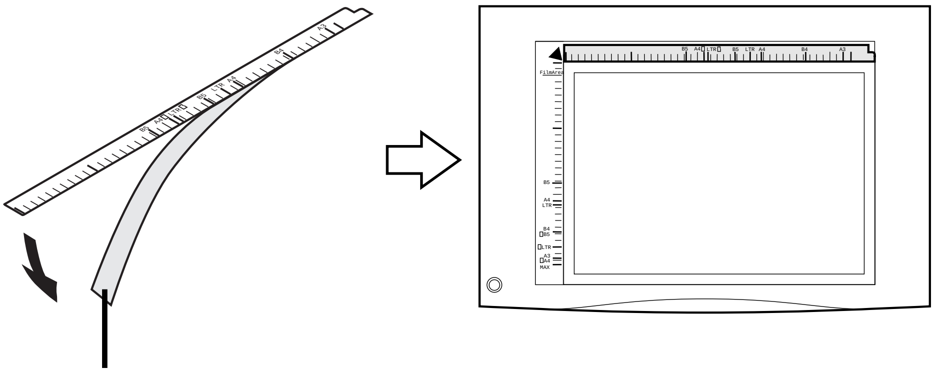


以上で原稿のセットは終了です。

スケールストッパについて

原稿台の長辺には、A3より大きな原稿をセットする場合に段差ができないよう、原稿を当てるストッパを付けてありません。
しかし、A3より小さな原稿をセットする場合に、原稿を当てるストッパがほしい場合は、同梱のスケールストッパを貼り付けてお使いください。

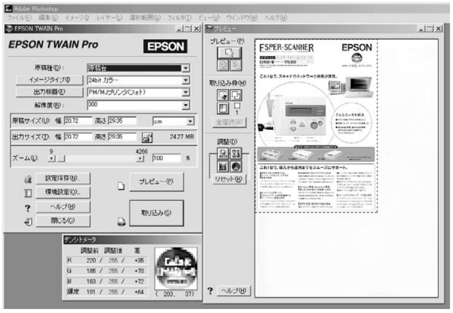
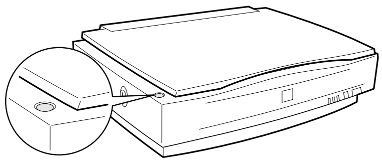
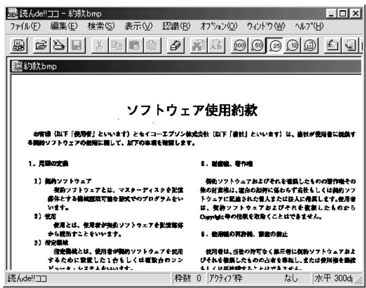
> 注 意
> **オプションのADFを使用する場合は、スケールストッパは貼り付けないでください。ADF使用時にスケールストッパが貼り付けられていると、原稿に傷が付くおそれがあります。**



剥離紙をはがし、右図のようにスキャナに貼り付けます。はがした剥離紙は、スケールストッパをスキャナからはがした場合（ADF装着時など）に必要ですので、保管しておいてください。

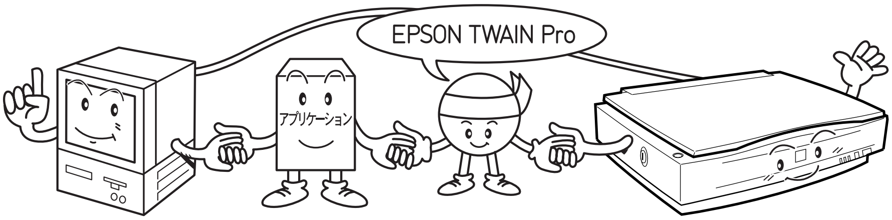
画像の取り込み方法の紹介

画像を取り込むには、大きく分けて2種類の方法があります。
スキャナを購入後、まずは取り込んでみたい！ という方は、手動でTWAIN 対応アプリケーションとEPSON TWAIN Proを起動して取り込む方法をお勧めします。

手動でTWAIN 対応アプリケーションとEPSON TWAIN Proを起動して取り込む方法	スキャナビボタンを使用して取り込む方法
取り込みの手順は多くなりますが、取り込み領域の指定や画質調整など、より高度な取り込みが行えます。  Adobe Photoshopから EPSON TWAIN Proを起動した例 EPSON TWAIN Proでの取り込み手順については、次ページ以降をご覧ください。	スキャナビボタンを使用すると、TWAIN対応アプリケーションの起動から取り込みまでを自動的に行えます。文字原稿の認識（OCR）用途などで、決まった設定で取り込めばよい場合に便利です。 ただし、前もって各種設定を行っておく必要があるため、まずは取り込んでみたい！ という場合には不向きです。  ボタンを押す ⇩  PageManager起動・モノクロで 自動取り込み ⇩  自動的にOCR ソフト起動 スキャナビボタンの使い方については、ユーザーズガイド（CD-ROM）[スキャナビボタンの使い方]をご覧ください。

EPSON TWAIN Proの起動

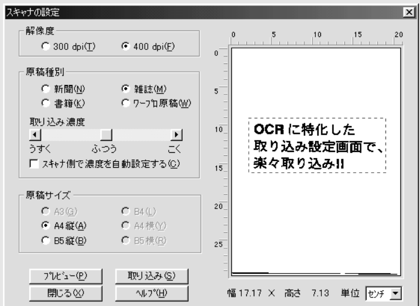
スキャナから画像を取り込むには「EPSON TWAIN Pro」というソフトウェアが必要です。しかし、EPSON TWAIN Proは単独では動作できないため、TWAIN（トウェイン）に対応したアプリケーションから起動します。
ここでは、Adobe Photoshop 5.0JからEPSON TWAIN Proを起動する手順を例に説明します。



1 まず、TWAIN対応アプリケーションを起動します。

ポイント

- ソフトウェアCD-ROM収録のアプリケーションから、EPSON TWAIN Proを起動することができます（Acrobat Readerを除く）。詳しくは、ソフトウェアCD-ROM収録のアプリケーションガイドをご覧ください。
- 付属のOCR（光学文字認識）ソフトを使用して取り込む方へ
  付属のOCRソフトからの取り込みでは、OCRソフト独自の取込設定画面で取り込むことができます。詳しくは、OCRソフトの取扱説明書をご覧ください。

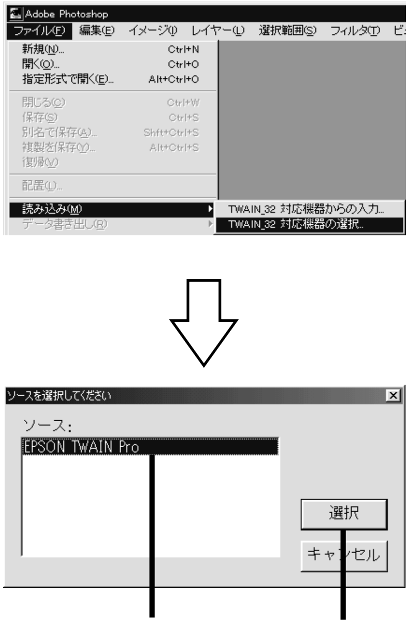


- EPSON Scan Serverを起動している場合は、終了してください。終了しないとEPSON TWAIN Proを起動できません。終了方法については下記をご覧ください。
  ☞ ネットワークガイド「EPSON Scan Serverの機能説明」41ページ

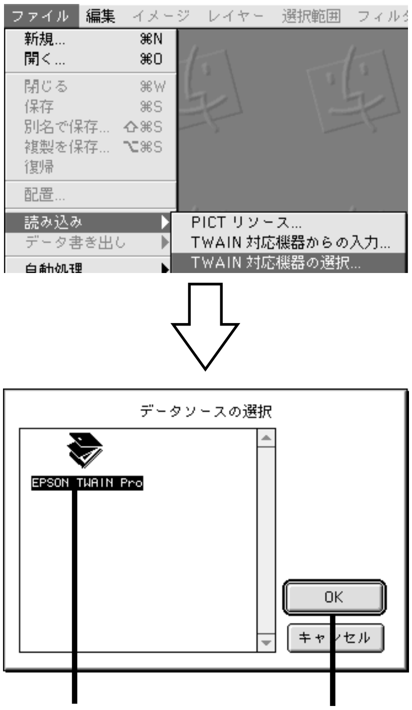
2 TWAIN対応アプリケーションで、起動するTWAINデータソース［EPSON TWAIN Pro］を選択します。

＜Adobe Photoshop 5.0Jでの例＞

Windows　　　　Macintosh



クリックして、　クリックします



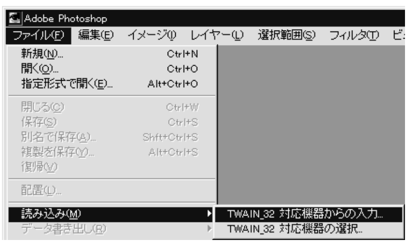
クリックして、　クリックします

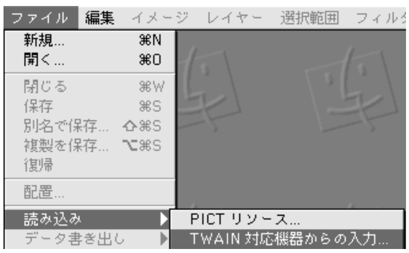
ポイント　Windows Meをお使いの場合、[WIA-EPSON ES-6000]は選択しないでください。

3 TWAIN対応アプリケーションで、EPSON TWAIN Proを起動します。

＜Adobe Photoshop 5.0Jでの例＞

Windows　　　　Macintosh

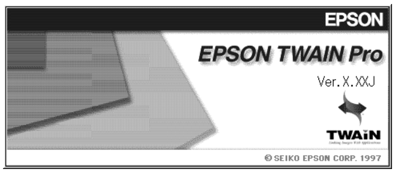




4 EPSON TWAIN Proを起動すると、[スタート]画面が数秒表示された後、[EPSON TWAIN Pro]画面が表示されます。

[スタート]画面は約 2 秒間表示されますが、その間に[スタート]画面のどこかをクリックすると、すぐに[EPSON TWAIN Pro]画面に切り替わります。

[スタート]画面



[EPSON TWAIN Pro]画面



このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。詳しくは「ヘルプのご案内」71 ページをご覧ください。

ポイント

- **上の画面が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、以下のページを参照して対処してください。**
  ☞「画像取り込み時のトラブル」88 ページ
- **違う画面が表示された場合は、TWAIN データソースの選択を間違えています。手順 2 に戻り、[EPSON TWAIN Pro]を選択してください。**
- **EPSON TWAIN Proは、Windows、Macintoshともに同じ手順で操作できます。以降の説明では、Windows版の画面を例に説明します。**

簡単な取り込み手順

スキャナの操作に不慣れな方は、以下の説明を参照して、まず取り込んでください。詳細な取り込み手順については、ヘルプの［詳細な取り込み手順］をご覧ください（Windows NT3.51を除く）。

1 原稿種、イメージタイプ、出力機器などを設定します。

　　部は初期設定です。

原稿種:

スキャナにオプションのADFを装着していない場合は設定不要です（グレー表示されます）。ADFを使って原稿を取り込むかどうかを選択します。選択肢は次の通りです。

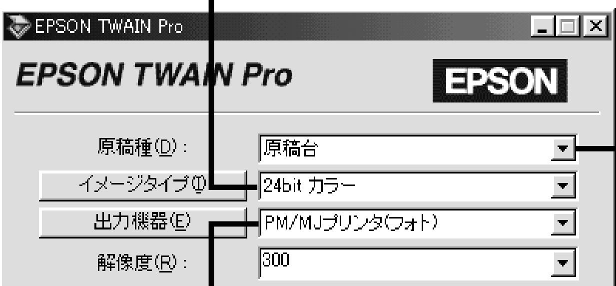
- 原稿台
- ADF－××（オートドキュメントフィーダ。××は片面/両面）

ADFを装着していても、スキャナの原稿台（ガラス面）にセットした反射原稿（紙などの光を反射する原稿）を取り込む時は、［原稿台］を選択します。

イメージタイプ:

取り込む画像の色数の設定を、リストの中から選択します。定義済みの主な設定は次の通りです。

- 24bitカラー（カラー取り込みに適した設定）
- 8bitグレー　（白黒写真の取り込みに適した設定）
- OCR　　　　（文字原稿の取り込みに適した設定）

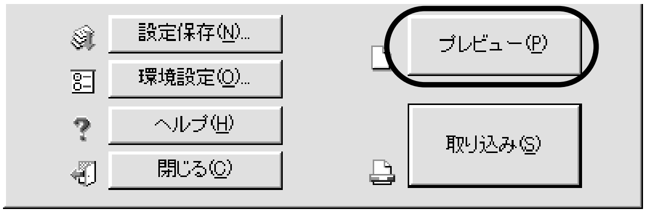


出力機器:

画像を最終的に出力する機器をリストから選択します。この設定によって、出力機器に合わせての、解像度とアンシャープマスクの設定を行います。
定義済みの主な設定は次の通りです。

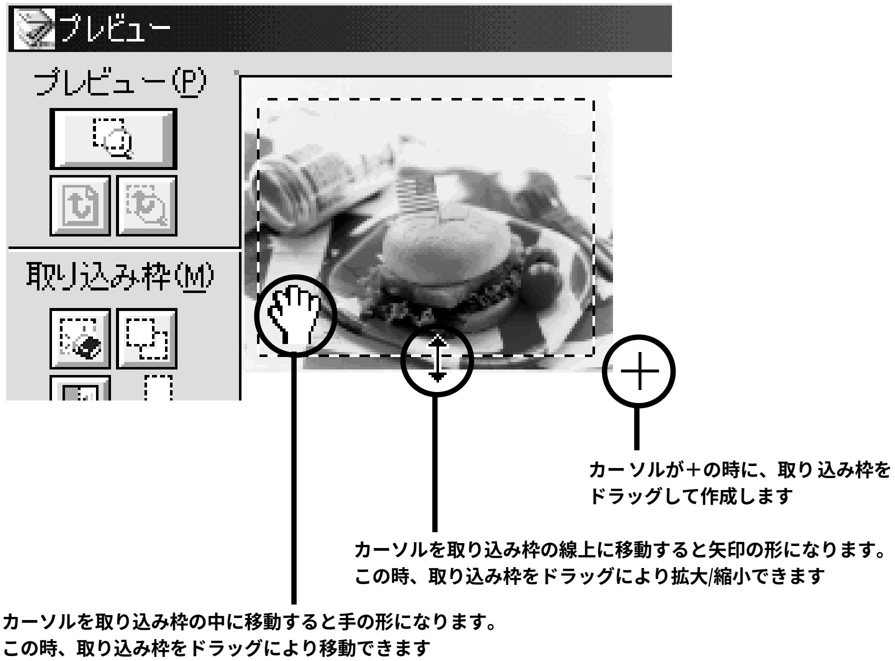
- スクリーン/Web（ディスプレイ表示に適した設定）
- PM/MJプリンタ（での印刷に適した設定）
- OCR　　　　　　（文字原稿の取り込みに適した設定）

2 **［プレビュー］ボタンをクリックして原稿をプレビュー（仮取り込み）します。**
プレビューウィンドウとデンシトメータウィンドウ（Windows NT3.51 を除く）が表示されます。
初期設定では、プレビュー後、露出（明暗）が自動調整されます。



ポイント
[デンシトメータ]ウィンドウについて(Windows NT3.51を除く)
マウスカーソルをプレビュー画面上に移動すると、カーソル位置近傍の画素情報が[デンシトメータ]ウィンドウに表示されます。
[デンシトメータ]ウィンドウでは、カーソル位置近傍のピクセルのRGB値や輝度などを確認できます。詳しくはヘルプの「デンシトメータウィンドウ」をご覧ください。

3 **プレビューウィンドウで、取り込み枠をドラッグして作成します。**
ドラッグ･･･マウスボタンを押しながらマウスを動かすこと



ポイント
初期設定では、上記の操作を行うと、取り込み枠内の露出(明暗)が自動調整されます(Windows NT3.51を除く)。

4 **取り込む領域が小さい場合は、［ズームプレビュー］ボタンをクリックして取り込み枠をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。**

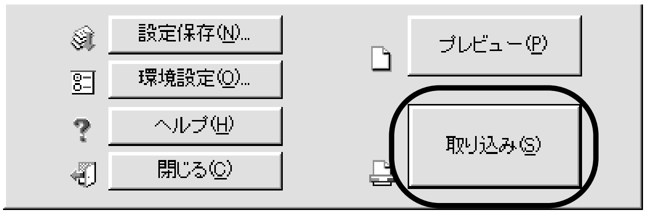
初期設定では、ズームプレビュー後、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。

クリックします



取り込み枠をズーム表示し、露出が自動調整されます

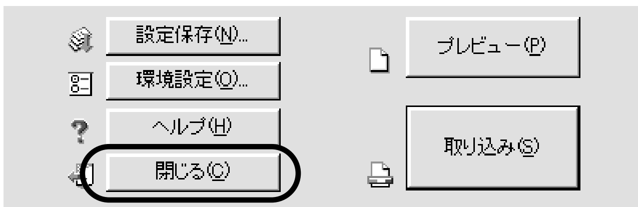
5 **EPSON TWAIN Pro画面の［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**



取り込んだ画像が、新規ファイルとして表示されます（EPSON TWAIN Pro の後ろに隠れて見えない場合があります）。

6 **EPSON TWAIN Pro画面の［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN Pro を閉じます。**

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションによっては、EPSON TWAIN Pro が自動的に終了する場合があります。



この後は画像を保存します。

次ページへ

画像の保存

TWAIN対応アプリケーションで、画像を保存します。
一般的には次のような手順になります。アプリケーションによって画面や手順が異なりますので、詳しくはお使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
ここでは、Adobe Photoshop 5.0で保存する手順を例に説明します。

1 ［ファイル］メニューの［別名で保存］や［新規保存］などを選択します。

Windows



Macintosh

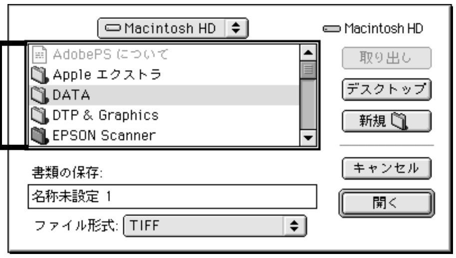


2 保存するフォルダを選択します。

Windows



Macintosh



保存するフォルダをダブルクリックして選択します。フォルダ名は覚えておいてください。
（後で画像を開く時にフォルダを指定するため）

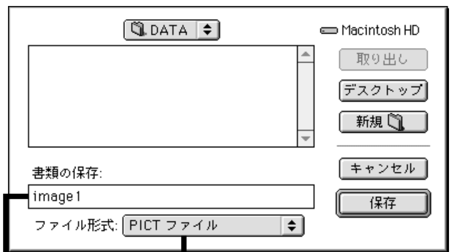
3 ①ファイル形式を選択し（次ページ参照）、②ファイル名を入力します。

Windows



①ファイル形式を選択し（BMP形式を選択した例）、
②ファイル名を入力します

Macintosh



①ファイル形式を選択し（PICT形式を選択した例）、
②ファイル名を入力します

ポイント

画像ファイル形式について

主なファイル形式を紹介します。お使いのアプリケーションが各形式に対応しているかご確認の上、形式を決めてください。

WindowsではBMP形式、MacintoshではPICT形式で保存しておけば、ほとんどのアプリケーションで開くことができます。

- **TIFF形式（＊.TIF）**
  グラフィックソフト、DTPソフトなど、多くのアプリケーションでデータを交換するために作られたファイル形式です。
- **EPS形式（＊.EPS）**
  ポストスクリプト形式のファイルです。ほとんどのイラストレーションソフトや、DTPソフトが対応しています。
- **BMP形式（＊.BMP）**
  多くのアプリケーションが対応しているファイル形式です。ワープロソフトをはじめ、ほとんどのWindows用アプリケーションが対応しています。
- **PICT形式**
  Macintosh標準の画像ファイル形式です。ワープロソフトをはじめ、ほとんどのMacintosh用ソフトウェアが対応しています。
- **JPEG形式（＊.JPG）**
  圧縮形式のファイルです。圧縮品質を選択でき、かなり圧縮率を高くできます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータは復元不可）、さらに保存のたびに劣化していきます。そのため、レタッチなどの加工が前提ならば、まずはTIFFなどの形式で保存してください。

4 ［保存］や［OK］などのボタンをクリックして保存します。

これで画像の取り込み・保存は終了です。

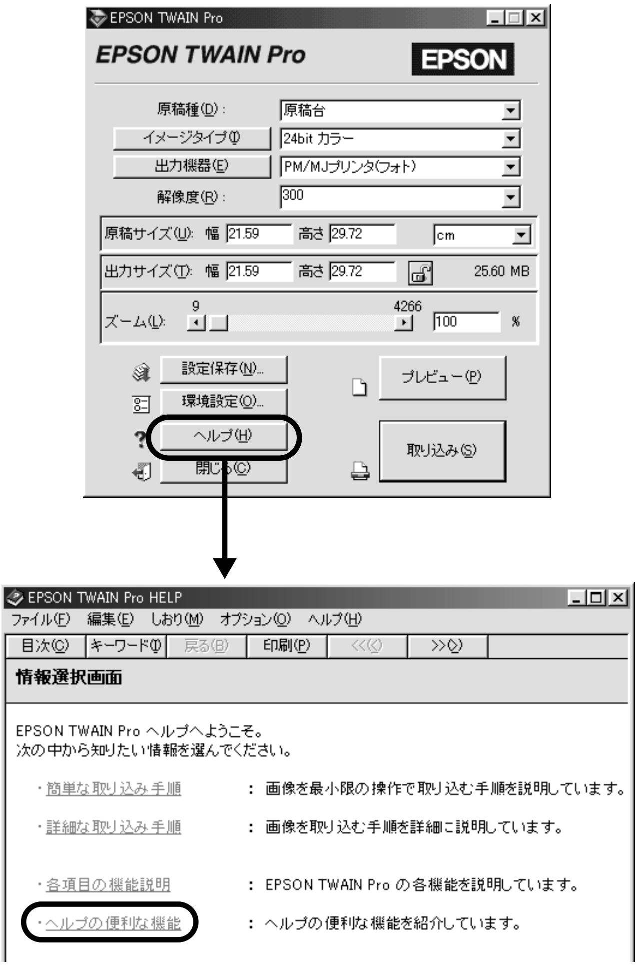
ヘルプとユーザーズガイドのご案内

ヘルプのご案内

ヘルプには次の説明があります。

- 簡単な取り込み手順
- 詳細な取り込み手順（Windows NT3.51を除く）
- 各項目の機能説明
- 画質調整の基本手順（Windows NT3.51を除く）
- 文字原稿の認識率を上げるノウハウ（Windows NT3.51を除く）

ヘルプの使い方については、［ヘルプ］ボタンをクリックすると表示される［情報選択］画面で、［ヘルプの便利な機能］をクリックしてご覧ください（Windows NT3.51を除く）。



ユーザーズガイドのご案内

次の内容については、CD-ROMマニュアル［ユーザーズガイド］をご覧ください。
ユーザーズガイドは、［ES-6000Hソフトウェア CD-ROM］に収録されています。

> ポイント
> **ユーザーズガイドの開き方や使用方法については、以下のページをご覧ください。**
> **☞「ユーザーズガイドの起動方法（Windows）」73 ページ**
> **☞「ユーザーズガイドの起動方法（Macintosh）」74 ページ**
> **なお以下のページに、ユーザーズガイドのもくじがあります。**
> **☞「ユーザーズガイド（CD-ROM）のもくじ」2 ページ**

■スキャナビボタンの使い方

スキャナビボタンを利用するための設定手順を説明しています。

■取り込み・ノウハウ

次の内容を説明しています。

詳細な取り込み手順

画像を取り込む手順を詳細に説明しています。

出力サイズを指定しての取り込み方

出力サイズ（取り込み後の画像サイズ）を指定して取り込む方法を説明しています。

写真をきれいに取り込むノウハウ

EPSON TWAIN Proでの画質調整の方法を説明しています。

文字原稿の認識率を上げるノウハウ

OCR（光学文字認識）での認識率を上げる方法を説明しています。

■EPSON TWAIN Proの機能説明

EPSON TWAIN Proの各機能を詳細に説明しています。
※EPSON TWAIN Proのヘルプにも、同様の説明がありますのでご利用ください。

> ポイント
> **Windows NT3.51をお使いの方へ**
> **Windows NT3.51用のEPSON TWAIN Proは、一部機能が異なります。そのため、EPSON TWAIN Proの詳細については、EPSON TWAIN Proのヘルプをご覧ください。**

■オプションの使い方

次の内容を説明しています。

オプションの紹介

本スキャナ用のオプションを紹介しています。

ADF(オートドキュメンドフィーダ)の使い方

ADFの取り付け方、原稿のセットの仕方、ADFからの取り込み方などを説明しています。

■困ったときは

困ったときの対処方法を説明しています。

■付録

次の内容を説明しています。

日常のお手入れ

移動時のご注意

基本仕様

ユーザーズガイドの起動方法(Windows)

1 **コンピュータを起動した状態で、ES-6000HソフトウェアCD-ROMをセットします。**

しばらくすると［EPSON インストールプログラム］画面が自動的に表示されます。

> ポイント
>
> **Windows NT3.51の場合は[EPSONインストールプログラム]画面が自動的に表示されませんので、次の手順で起動してください。**
>
> **① プログラムマネージャの[アイコン]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選びます。**
>
> **② CD-ROM のドライブ名と実行コマンド(EPSETUP)を半角で入力し、[OK]ボタンをクリックします。**
> **CD-ROMドライブがDドライブの場合の入力例)D:\EPSETUP**

2 **[マニュアルを見る] をダブルクリックします。**



3 右の画面が表示されたら、[ユーザーズガイド見る]をダブルクリックします。



ユーザーズガイドのインストール方法

1 「ユーザーズガイドの起動方法」のステップ❶、❷に従って右の画面を表示させ、[ユーザーズガイドのインストール]をダブルクリックします。



2 この後は画面の指示に従ってください。

ユーザーズガイドの起動方法（Macintosh）

ES-6000HソフトウェアCD-ROMをMacintoshにセットします。CD-ROMの中の「マニュアル」フォルダをダブルクリックして開き、「マニュアルを見る」をダブルクリックします。[メニュー] 画面が表示されたら「ユーザーズガイドを見る」をクリックします。

ユーザーズガイドのインストール方法

ES-6000HソフトウェアCD-ROMをMacintoshにセットします。CD-ROMの中の「マニュアル」フォルダをダブルクリックして開き、「マニュアルを見る」をダブルクリックします。表示された画面で、インストールしたい項目をクリックします。

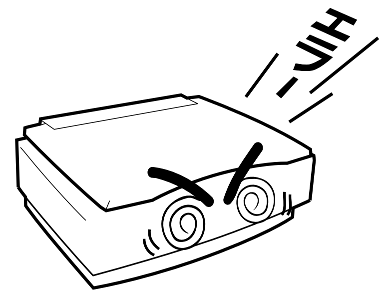
困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

トラブルが発生したら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

スキャナ本体のトラブル



電源がオンにならない、オンにするとエラーが出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

☞「スキャナ本体のトラブル」79 ページ

スキャナが認識されない



スキャナが認識されない場合の対処方法を説明しています。

☞「スキャナが認識されない」83 ページ

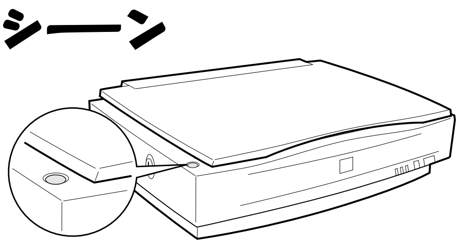
画像取り込み時のトラブル



エラーメッセージが出てEPSON TWAIN Proが起動できない、また画像が取り込めないなどのトラブルの対処方法を説明しています。

☞「画像取り込み時のトラブル」88 ページ

スキャナビボタン使用時のトラブル



スキャナビボタンを押しても動作がはじまらない､動作が違うなどのトラブルの対処方法を説明しています。

☞ユーザーズガイド（CD-ROM）「スキャナビボタン使用時のトラブル」

取り込んだ画像の品質上のトラブル

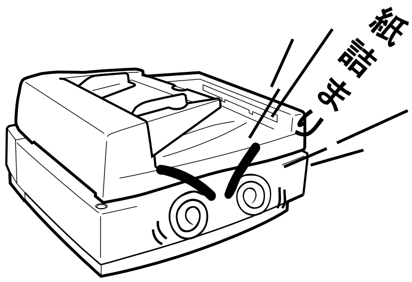


モアレが発生した例

取り込んだ画像が暗い､色がおかしい､モアレ（斑点のような模様）が出るなどのトラブルの対処方法を説明しています。

☞ユーザーズガイド（CD-ROM）「画像品質上のトラブル」

ADF使用時のトラブル



ADFでの紙詰まりなどのトラブルの対処方法を説明しています。

☞ユーザーズガイド（CD-ROM）「ADF 使用時のトラブル」

⚠注意

次のような場合は故障と思われますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

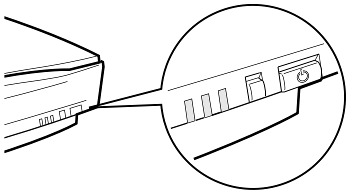
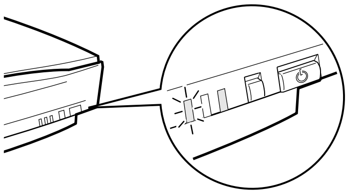
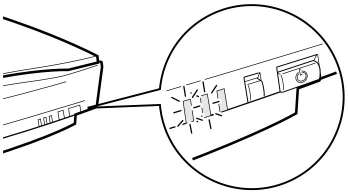
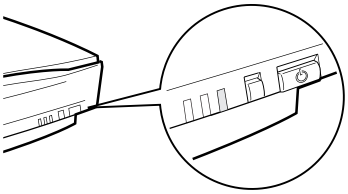
- スキャナが極端に発熱する（非常に温度が高い）、ケースに変形が起こる
- 変な臭いや音がする、煙が出る
- スキャナのERRORランプが消灯しない

内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。なお、エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙にあります。

スキャナのエラー表示

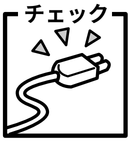
スキャナでエラーが起こった時は、ランプの表示でエラーの内容を確かめることができます。

▢：点灯　■：点滅　□：消灯

ランプ表示／エラー種類	エラーの内容／対処
コマンドエラー 	ソフトウェアの設定や送られてきたコマンドに誤りがあります。ソフトウェアで取り込み操作をもう一度やり直してください。 スキャナをリセットする必要はありません。
通信エラー 	インターフェイスの接続か設定に誤りがあります。インターフェイスの接続や設定を確認してください。 Windowsの場合 ☞「SCSIIDとターミネータの設定」20 ページ Macintoshの場合 ☞「SCSI IDとターミネータの設定」26 ページ それでもエラーが解除されなければ、スキャナの電源をオフにし、10秒ほど待ってからオンにしてください。
システムエラー 	スキャナの電源をオフにし、次のことを確認してください。 ①輸送用固定ノブが UNLOCK になっているか ☞「電源オンでエラーが出る」79 ページ ②ADFで紙が詰まっていないか ☞ユーザーズガイド（CD-ROM）「ADF 使用時のトラブル」 上記を確認してもエラーが起こる場合はスキャナの故障が考えられます。エプソンの修理窓口にご相談ください（裏表紙参照）。
オプションエラー 	ADFを完全に閉じていないか、またはADFに原稿がセットされていません。これらをご確認ください。

スキャナ本体のトラブル

電源がオンにならない



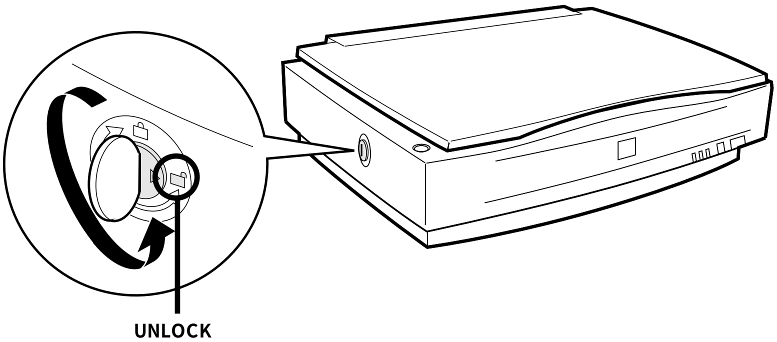
電源プラグがコンセントに接続されていますか？
コンセントに接続してください。コンセントに電気が通じていないこともありますので、ほかの電気製品をつないで動くかどうかも調べてください。

電源オンでエラーが出る

ERROR・READYランプが点滅する（システムエラーになる）場合は、次のことが考えられます。



キャリッジが輸送用固定ノブで固定されているため、動けない状態になっています。
電源をオフにしてから、コインなどを使って輸送用固定ノブをUNLOCKの位置に回してください。



漏洩電流について

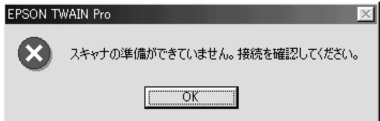
本機は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。
しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このような時には、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。
本機からアースを取る場合は、インフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください（裏表紙参照）。

エラーメッセージ

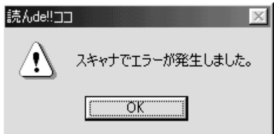
エラーメッセージが表示された場合は、エラーの内容に応じて次のように対処してください。

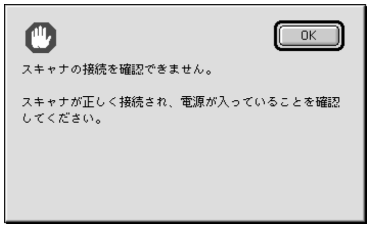
> ポイント　ここでは、スキャナをコンピュータに直接接続している場合に表示されるエラーメッセージについて説明しています。スキャナをネットワーク経由で利用する場合に表示されるエラーメッセージについては、ネットワークガイドをご覧ください。

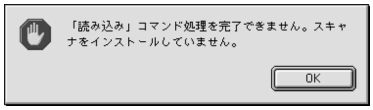
TWAINデータソースまたはインターフェイスのエラー

<table>
<tr><th></th><th>Windows</th><th>Macintosh</th></tr>
<tr><td>エラーの例</td><td>


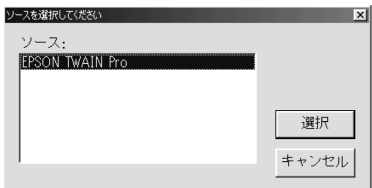




※ エラー内容は TWAIN 対応アプリケーションにより異なります</td><td>




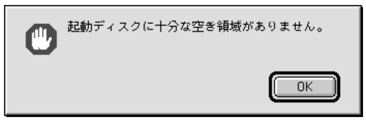
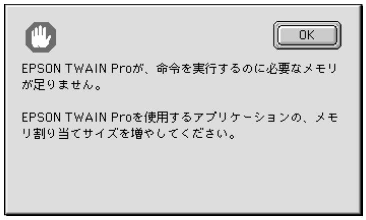


※ エラー内容は TWAIN 対応アプリケーションにより異なります</td></tr>
<tr><td>原因1・対処</td><td colspan="2">次のようにTWAINデータソースを選択していないため</td></tr>
<tr><td></td><td>

</td><td>

</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">EPSON TWAIN Proを起動する前に、TWAIN対応アプリケーションでTWAINデータソースを選択してください。選択方法はTWAIN対応アプリケーションによって異なりますので、TWAIN対応アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。</td></tr>
</table>

	Windows	Macintosh
原因2・対処	TWAINデータソースを正しく選択していてもこのエラーが起こる場合は、次の原因が考えられます。 ①インターフェイスの接続や設定に問題がある この場合はさまざまな原因が考えられます。以下のページを参照して対処してください。 ☞「画像取り込み時のトラブル」88 ページ ②Windowsの場合、同一スキャナに対して、EPSON Scan Server(スキャナをネットワーク環境で利用するためのソフトウェア)を起動している EPSON Scan Serverの起動中は、同一スキャナに対してEPSON TWAIN Proを起動することはできません。EPSON Scan Serverを終了してください。	

ハードディスクやメモリ関連のエラー

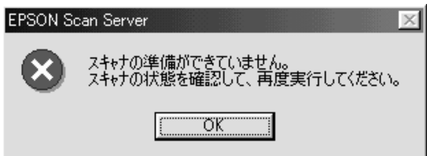
	Windows	Macintosh
エラー	 	 
原因・対処	これらのエラーは、コンピュータのハードディスクやメモリの空き容量が不足している時に起こります。Macintoshの場合は、TWAIN対応アプリケーションへのメモリ割り当てが不十分であることも考えられます。空き容量を確保してください。 ☞「エラーが出て画像を取り込めない」92 ページ	

ADF使用時のエラー

エラーメッセージ	対　処
ADFに用紙がありません。	ADFに原稿をセットしてください。
ADFの用紙が詰まりました。	詰まっている原稿を取り除いてください。 ☞ユーザーズガイド(CD-ROM)「ADF　使用時のトラブル」
オプションのカバーが開いています。	ADFまたはADFのカバーをしっかり閉じてください。
原稿台に用紙がないことを確認してください。	ADFから取り込む場合は、原稿台に用紙を置かないでください。
イメージの転送に失敗しました。	• 取り込み動作中は、ADFまたはADFのカバーを開けないでください。 • ADFで用紙が詰まった場合にも、このメッセージが表示される場合があります。その場合は、下記を参照して対処してください。 ☞ユーザーズガイド(CD-ROM)「ADF　使用時のトラブル」

Windows起動時のエラー

Windowsの起動直後にこのエラーメッセージが表示された場合は、ネットワークガイド［スキャナサーバ起動時のエラー］を参照して対処してください。



スキャナが認識されない

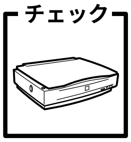
ポイント

- ここでは、スキャナをコンピュータに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。スキャナをネットワーク経由で利用する場合のトラブルについては、ネットワークガイドをご覧ください。
- スキャナをIEEE1394接続されている場合のトラブルについては、IEEE1394 I/Fカードの取扱説明書をご覧ください。



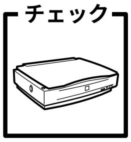
接続に問題はありませんか？

SCSIケーブルをしっかりと接続してください。
SCSIケーブルに問題があることも考えられます。コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。



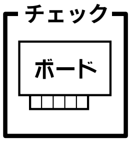
スキャナの準備はできていますか？

スキャナの電源がオフになっていると、スキャナは認識されません。必ず、電源をオンにしてREADYランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。



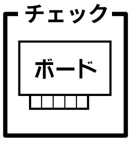
電源投入の順序は正しいですか？

コンピュータの電源をオンにする前に、必ずスキャナの電源をオンにしておいてください。そうしないと、スキャナが認識されません。



エプソン推奨のSCSIボードを使っていますか？

エプソン推奨のSCSIボード以外では、スキャナの動作保証は致しかねます。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページでご確認ください。
FAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスは裏表紙にあります。



SCSIボードは正しく取り付けられていますか？

コンピュータにしっかりと取り付けられていない可能性があります。取り付け（奥までしっかり挿入されているか）を確認してください。



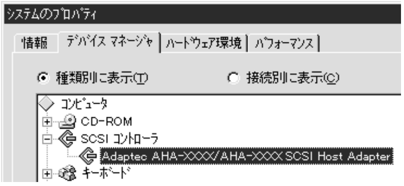
SCSIドライバが正しくインストールされ、SCSIボードが認識されていますか？

SCSIボードの取扱説明書を参照して、SCSIドライバを正しくインストールしてください。

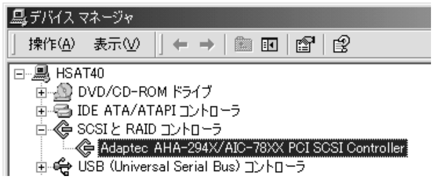
SCSIドライバは、WindowsのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをお使いください。

SCSIボードを取り付け、SCSIドライバをインストールすると、[コントロールパネル] の [システム] の中の [デバイスマネージャ] で次のように認識されます（Windows NTを除く）。

Windows 95/98/Meの場合

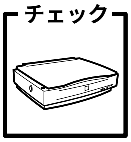


Windows 2000の場合



認識されない場合は、以下のページを参照して対処してください。

☞「SCSIボードが認識されない時は（NTを除く）」87 ページ

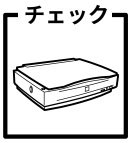


SCSI IDの設定は正しいですか？

スキャナのSCSI IDを他のSCSI機器と違う設定にしてください。重複していると正常に動作しません。

☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ

各機器のID番号は、SCSIボードに付属のソフトウェア（SCSI Selectなど。SCSIボードの取扱説明書参照）で確認できます。

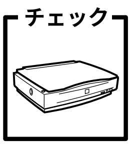


ターミネータの設定は正しいですか？

接続の順序をご確認の上、ターミネータを正しく設定してください。

誤った設定をすると正常に動作しないことがあります。

☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ



Windows 98の場合、SCSI IDまたはボードを変更していませんか？

Windows 98の場合は、EPSON TWAIN Proを削除した後で、スキャナのSCSI IDまたはSCSIボード（カード）を変更してください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「Windows 98でSCSI IDまたはボードを変更する時は」

Windows 98の場合、EZ-SCSIをインストールしてありませんか？

EZ-SCSIがインストールされていると、スキャナがデバイスマネージャに［Scanner－ES-XXXX］と登録され、EPSON TWAIN Proをインストールできない場合があります。この場合は次のように対処してください。

1.スキャナを接続したまま、デバイスマネージャでScanner－ES-XXXXを削除します。

2.Windows\Inf\Scsiscan.infを削除します（またはEZ-SCSIをアンインストールします）。

3.コンピュータを再起動します。スキャナが認識されるので、EPSON TWAIN Proをインストールしてください。

☞「Windows 98でのインストール」33 ページ

Windows 98/2000/Meの場合、インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

EPSON TWAIN Proを削除し、再インストールしてください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「EPSON TWAIN Proの再インストール」

Windows NTの場合、固有の問題を解決しましたか？

Windows NTの場合は、ネットワークボードとI/Oポートアドレスが重複したり、またターミネータやSCSIケーブルの種類に制限がある場合があります。WindowsNTのreadmeファイルを参照の上、固有の問題を解決してください。readmeファイルが保存されている場所は、Windows NTの取扱説明書に記載されています。

それでもダメな時は

前記を確認してもスキャナが認識されない場合は、次のように対処してください。

デイジーチェーンの場合、SCSI機器の順番を入れ替えてみる

1.スキャナ以外のすべてのSCSI機器をいったん取り外し、スキャナのみ接続します。その後、以下のページを参照して接続の確認をしてください。

Windows 98/2000/Meの場合

☞「接続の確認」54 ページ

Windows 95/NTの場合

☞「コントロールパネル」102 ページ

2.動作が確認できたら、他のSCSI機器をスキャナの後ろに接続してみてください。この時、SCSI IDやターミネータの設定にご注意ください。

☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ

SCSIボードに添付されている取扱説明書またはQ&A集などで確認

特定のコンピュータおよびSCSIボードとの組み合わせにおいて、SCSIボードのディップスイッチや、ソフトウェアの設定変更などが必要になる場合があります*。

SCSIボードに添付されている取扱説明書やQ＆A集には、このようなケースの具体的な対処方法がいくつか記載されていますので、確認してみてください。

* 他のボード（サウンド・TVチューナーなど）とI/Oポートアドレスなどの設定が重複することがあり、この場合はSCSIボード側の設定を、ディップスイッチやソフトウェアなどにより変更します。

デイジーチェーンの場合、他のSCSI機器に接続上の制限がないか確認

SCSI機器によっては、SCSI IDや接続の順序が制限されているものがあります。お使いのSCSI機器の取扱説明書またはreadmeファイルでご確認ください（readmeファイルとは、SCSI機器に添付のCD-ROMなどに入っている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれています）。

SCSIボードが認識されない時は（NTを除く）

ここでは、SCSIボードの取り付けとSCSIドライバのインストールを確認します。
まず、お使いのSCSIボードがプラグ&プレイ対応品かご確認ください（プラグ&プレイとは、周辺装置やボードなどの自動設定機能のことです）。

> ポイント
> **Windowsで認識できても、エプソン推奨のSCSIボード以外ではスキャナの動作保証は致しかねます。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの[スキャナ・その他製品関連情報]または、エプソン販売のホームページでご確認ください。FAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスは裏表紙にあります。**

SCSIボードがプラグ&プレイに対応している場合

プラグ＆プレイに対応しているにもかかわらず、SCSIボードが認識されない場合は、SCSIボードが正しく取り付けられていないことが考えられます。取り付け（奥までしっかり挿入されているか）を確認してください。
SCSIボードが正しく取り付けられていれば、自動的にSCSIドライバがインストールされます。
※SCSIボードがPCIバス用でない場合、ボードがプラグ＆プレイ対応品でも、コンピュータがプラグ＆プレイに対応していない場合があります。コンピュータメーカーにお問い合わせください。

SCSIボードがプラグ&プレイに対応していない場合

まず、SCSIボードが正しく取り付けられているか（奥までしっかり挿入されているか）確認してください。その後、次の手順でSCSIドライバをインストールします。

1. **[コントロールパネル］を開き、次のアイコンをダブルクリックします。**
   Windows 95　　：［ハードウェア］アイコン
   Windows 98/Me：［ハードウェアの追加］アイコン
   Windows 2000　：［ハードウェアの追加と削除］アイコン

2. **画面の指示に従ってSCSIボードを検出します。**
   なお、検出の途中でコンピュータが応答しなくなることがありますので、他のアプリケーションは終了しておいてください（コンピュータが応答しなくなった場合は、リセットしてください)。

3. **SCSIボードを検出できたら、SCSIドライバをインストールしてください。**
   詳しくは、SCSI ボードの取扱説明書をご覧いただくか、または SCSI ボードのメーカーにお問い合わせください。
   SCSI ボードが検出されない場合は、ボードの取り付けを確認してください。

4. **SCSIボードが正しく認識されたか確認してください。**
   ☞「スキャナ接続前の確認」17 ページ

画像取り込み時のトラブル

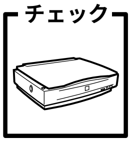
> **ポイント** ここでは、スキャナをコンピュータに直接接続している場合のトラブルについて説明しています。スキャナをネットワーク経由で利用する場合のトラブルについては、ネットワークガイドをご覧ください。

EPSON TWAIN Proを起動できない



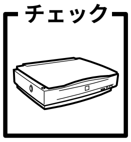
接続に問題はありませんか？

SCSIケーブルをしっかりと接続してください。
SCSIケーブルに問題があることも考えられます。コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。



スキャナの準備はできていますか？

スキャナの電源がオフになっていると、EPSON TWAIN Proは起動できません。必ず、電源をオンにしてREADYランプが緑色に点灯した状態にしておいてください。



電源投入の順序は正しいですか？

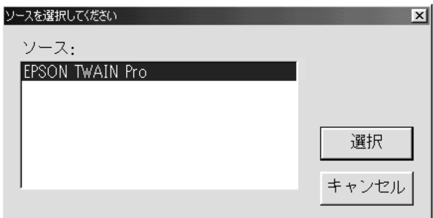
コンピュータの電源をオンにする前に、必ずスキャナの電源をオンにしておいてください。そうしないと、スキャナが認識されません。



TWAIN対応アプリケーションでTWAINデータソースを正しく選択していますか？

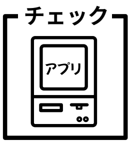
お使いのTWAIN対応アプリケーションの取扱説明書を参照し、TWAINデータソースの選択画面で[EPSON TWAIN Pro]を選択してください。
Windows Meをお使いの場合、[WIA-EPSON ES-6000] は選択しないでください。

Windows



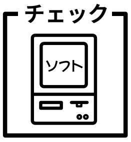
Macintosh





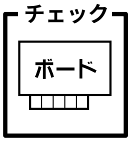
他のTWAIN対応アプリケーションで試してみてください。

何らかの原因により、TWAIN対応アプリケーションの動作が不安定になっていることも考えられます。他のTWAIN対応アプリケーションから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。



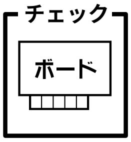
Windowsの場合、同一スキャナに対してEPSON Scan Serverを起動していませんか？

EPSON Scan Server（スキャナをネットワーク環境で利用するためのソフトウェア）を起動している場合は、同一スキャナに対してEPSON TWAIN Proを起動することはできません。EPSON Scan Serverを起動している場合は、終了してください。



エプソン推奨のSCSIボードを使っていますか？

エプソン推奨のSCSIボード以外では、スキャナの動作保証は致しかねます。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページでご確認ください。FAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスは裏表紙にあります。



SCSIボードは正しく取り付けられていますか？

コンピュータにしっかりと取り付けられていない可能性があります。取り付け（奥までしっかり挿入されているか）を確認してください。

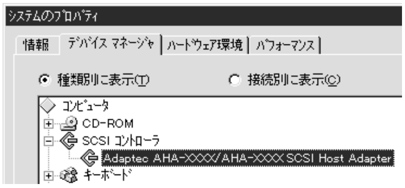


Windowsの場合、SCSIドライバが正しくインストールされ、SCSIボードが認識されていますか？

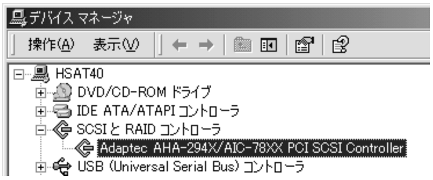
SCSIボードの取扱説明書を参照して、SCSIドライバを正しくインストールしてください。
SCSIドライバは、WindowsのCD-ROMに入っているドライバか、またはSCSIボード指定のドライバをお使いください。

SCSIボードを取り付け、SCSIドライバをインストールすると、［コントロールパネル］の［システム］の中の［デバイスマネージャ］で次のように認識されます（Windows NTを除く）。

Windows 95/98/Meの場合



Windows 2000の場合



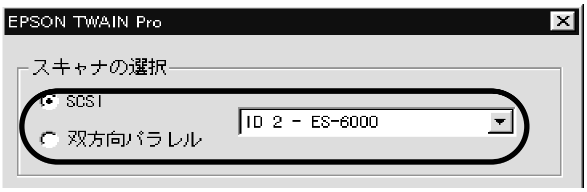
認識されない場合は、以下のページを参照して対処してください。

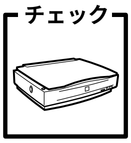
☞「SCSIボードが認識されない時は（NTを除く）」87 ページ



Windows 95/NT環境で他のEPSONスキャナとデイジーチェーンしている場合、コントロールパネルの［EPSON TWAIN Pro］で、他のEPSONスキャナを選択していませんか？

コントロールパネルを開き、［EPSON TWAIN Pro］の［スキャナの選択］項目で、ES-6000が選択されているか確認してください。





SCSI IDの設定は正しいですか？

スキャナのSCSI IDを他のSCSI機器と違う設定にしてください。重複していると正常に動作しません。

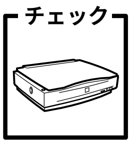
Windowsの場合

☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ

Macintoshの場合

☞「SCSI IDとターミネータの設定」26 ページ

各機器のID番号は、SCSIボードに付属のソフトウェア（SCSI Selectなど。SCSIボードの取扱説明書参照）で確認できます。



ターミネータの設定は正しいですか？

接続の順序をご確認の上、ターミネータを正しく設定してください。

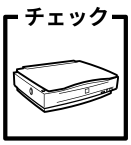
誤った設定をすると正常に動作しないことがあります。

Windowsの場合

☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ

Macintoshの場合

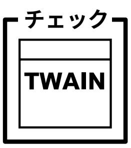
☞「SCSI IDとターミネータの設定」26 ページ



Windows 98の場合、SCSI IDまたはボードを変更していませんか？

Windows 98の場合は、EPSON TWAIN Proを削除した後で、スキャナのSCSI IDまたはSCSIボード（カード）を変更してください。

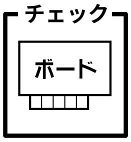
☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「Windows98でSCSI IDまたはボードを変更する時は」



Windows 98/2000/Meの場合、インストールが不完全な状態で終了している可能性があります。

EPSON TWAIN Proを削除し、再インストールしてください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「EPSON TWAIN Proの再インストール」



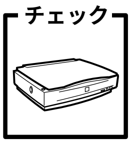
Windows NTの場合、固有の問題を解決しましたか？
Windows NTの場合は、ネットワークボードとI/Oポートアドレスが重複したり、またターミネータやSCSIケーブルの種類に制限がある場合があります。Windows NTのreadmeファイルを参照の上、固有の問題を解決してください。readmeファイルが保存されている場所は、Windows NTの取扱説明書に記載されています。



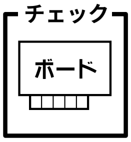
Macintoshに複数のEPSONスキャナを接続している場合、［EPSON ScannerSelector］で他のスキャナが選択されていませんか？
コントロールパネルから［EPSON ScannerSelector］を開き、ES-6000を選択してください。
☞「コントロールパネル」104 ページ

それでもダメな時は

前記を確認してもEPSON TWAIN Proを起動できない場合は、次のように対処してください。



デイジーチェーンの場合、SCSI機器の順番を入れ替えてみる
1. スキャナ以外のすべてのSCSI機器をいったん取り外し、スキャナのみ接続します。その後、以下のページを参照して接続の確認をしてください。
   Windows 98/2000/Meの場合
   ☞「接続の確認」54 ページ
   Windows 95/NTの場合
   ☞「コントロールパネル」102 ページ
   Macintoshの場合
   ☞「コントロールパネル」104 ページ
2. 動作が確認できたら、他のSCSI機器をスキャナの後ろに接続してみてください。この時、SCSI IDやターミネータの設定にご注意ください。
   Windowsの場合
   ☞「SCSI IDとターミネータの設定」20 ページ
   Macintoshの場合
   ☞「SCSI IDとターミネータの設定」26 ページ

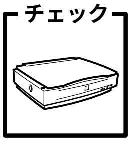


Windowsの場合、SCSIボードに添付されている取扱説明書またはQ&A集などで確認

特定のコンピュータおよびSCSIボードとの組み合わせにおいて、SCSIボードのディップスイッチや、ソフトウェアの設定変更などが必要になる場合があります*。

SCSIボードに添付されている取扱説明書やQ＆A集には、このようなケースの具体的な対処方法がいくつか記載されていますので、確認してみてください。

* 他のボード（サウンド・TV チューナーなど）とI/O ポートアドレスなどの設定が重複することがあり、この場合はSCSIボード側の設定を、ディップスイッチやソフトウェアなどにより変更します。



デイジーチェーンの場合、他のSCSI機器に接続上の制限がないか確認

SCSI機器によっては、SCSI IDや接続の順序が制限されているものがあります。お使いのSCSI機器の取扱説明書またはreadmeファイルでご確認ください（readmeファイルとは、SCSI機器に添付のCD-ROMなどに入っている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれています）。

エラーが出て画像を取り込めない



ハードディスクに、必要な空き容量がありますか？

ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の2倍以上の空き容量が必要です。不足している場合は、不要なデータを削除したり、ハードディスクを増設するなどして必要な容量を確保してください。取り込む画像データ容量の目安は、EPSON TWAIN Proの[出力サイズ]項目で確認できます。

なお、フォトレタッチソフトを使用している場合、フォトレタッチソフトが仮想記憶領域として多くの容量を使用していることがあります。必要に応じて、ハードディスクを増設してください。



メモリの空き容量は十分にありますか？

次の時は、メモリの空き容量が減って画像が取り込めないことがあります。

1．複数のアプリケーションを同時に使用している

2．他のアプリケーションで大きなデータを扱っている

3．クリップボードに大きなデータがある

これらの場合、アプリケーションの動作が遅くなるなどの症状が現れます。次のように対処して空きメモリを確保してください。

1の場合：他のアプリケーションを終了する

2の場合：他のアプリケーションでデータを保存の上、できればそのアプリケーションを終了する

3の場合：念のため、コンピュータを再起動する

必要なメモリ容量は画像データによって異なりますが、カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します（画像データによっては、さらに多くの容量を必要とします。メモリ容量は、多ければ多いほど有利です)。



Macintoshの場合、TWAIN対応アプリケーションに割り当てたメモリ容量は十分ですか？

TWAIN対応アプリケーションに割り当てたメモリ容量が不十分だと、画像を取り込めないことがあります。この時は、次のように対処してください。

1. TWAIN対応アプリケーションを終了します。
2. TWAIN対応アプリケーションのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから［情報を見る］を選択します（Mac OS 8.5では、[ファイル]－［情報を見る］－［メモリ］を選択します)。
3. ［メモリ必要条件］項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］をそれぞれ設定します。最適な設定値はアプリケーションによって異なりますので、お使いのアプリケーションの取扱説明書で確認するか、またはアプリケーションメーカーにお問い合わせください。基本的には、アプリケーションの推奨サイズ＋取り込む画像データ容量の2倍以上の容量を割り当てることをお勧めします。

なお、アプリケーションに割り当てるメモリ容量を増やしすぎると、同時に使用する他のアプリケーションの動作に支障が出ることがありますのでご注意ください。

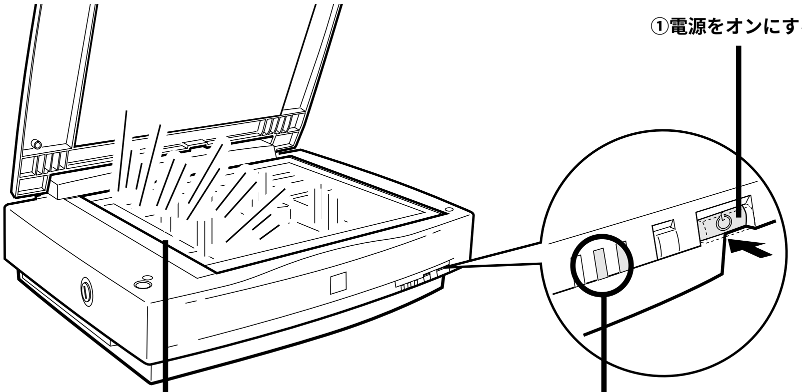
お問い合わせいただく前に

［困ったときは］の内容を確認しても、現在の症状や不明点が解決できない場合は、内容に応じてそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

スキャナ本体のトラブル

判別のしかた

スキャナに電源ケーブルのみ接続し、電源をオンにして動作を確認します。
次の動作が確認できれば正常です。
①電源をオンにした後、②スキャナ内部のキャリッジが少し動いて蛍光ランプが試験点灯し、③READYランプが点灯するか



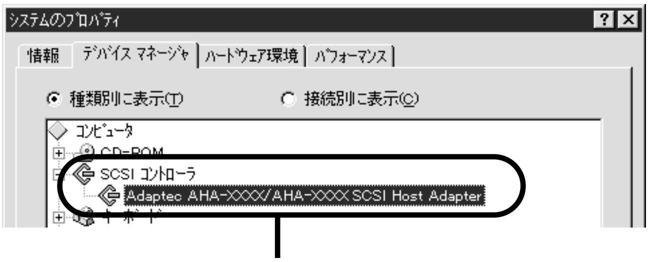
- 上記の動作が確認できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
  エプソンの修理窓口の連絡先は裏表紙にあります。



- 上記の動作が確認できれば、スキャナ本体のトラブルではありません。
  もう一度、接続やソフトウェアの取扱方法を確認してください。

Windows環境で、SCSIボード自体が認識されない

＜Windows 95/98での例＞



このように認識されない

この場合は、SCSIボードメーカーにご相談ください。
なお、エプソン推奨のSCSIボード以外では、スキャナの動作保証は致しかねますのでご注意ください。推奨SCSIボードについては、エプソンFAXインフォメーションの［スキャナ・その他製品関連情報］または、エプソン販売のホームページで最新の情報を提供しております。本書の裏表紙でFAXインフォメーションの番号、エプソン販売のホームページアドレスをご確認ください。

付属のTWAIN対応アプリケーションの使い方が分からない

この場合は、各アプリケーションの取扱説明書を参照するか、または各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。
アプリケーションメーカーの連絡先は、別冊「アプリケーションのお問い合わせ先一覧」に記載されています。

スキャナが認識されない
スキャナビボタンを押しても動作しない
エラーが出てEPSON TWAIN Proを起動できない
取り込んだ画像がおかしい

この場合は、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。インフォメーションセンターの連絡先は裏表紙にあります。



※ お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピュータの型番、TWAIN対応アプリケーションの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）・本機の名称・エラーが出る場合はその内容をご確認の上、ご連絡ください。

MEMO

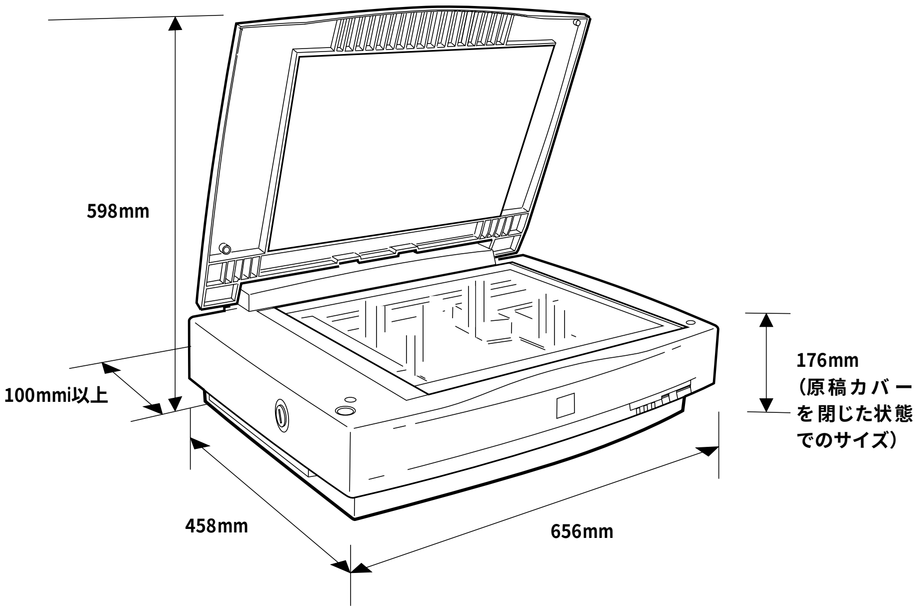
付録

ここでは、次の内容を詳しく説明しています。

スキャナの設置について

設置に必要なスペース

- スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを取ってください。
- 背面には、電源ケーブルやインターフェイスケーブルのためにすき間が必要です。壁に押し付けて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



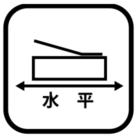
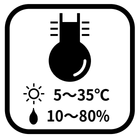
⚠注意

本機はA3対応の大型スキャナです。本体重量は約21kgありますので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置した場合、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

設置上のご注意

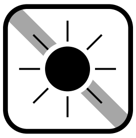
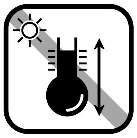
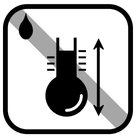
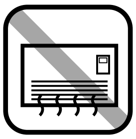
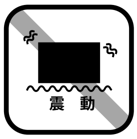
注意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
		

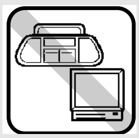
注意

本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
		
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水に濡れやすい場所
		
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所	震動のある場所
		

注意

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになる時は、静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。



画像データ容量の目安

画像データの容量は、原稿の種類・取り込みの条件・保存するファイル形式などによって大きく異なります。以下にTIFFファイル（圧縮なし）で保存した場合の容量の目安を示しますので、参考にしてください。

ポイント
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON TWAIN Proの［出力サイズ］項目で確認することができます。
- A3の場合は、画像にもよりますが、基本的にはA4の倍の容量になります。

色数	原稿のサイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
24bitカラー	L判写真*	約1.1MB	約4.3MB	約17.4MB
	A4	約6.1MB	約24.5MB	約98.0MB
8bitグレー	L判写真*	約0.4MB	約1.4MB	約5.8MB
	A4	約2.0MB	約8.2MB	約32.6MB
モノクロ	A4	－	約1.0MB	約4.0MB

*約90mm×130mm

備考/ご注意

- 解像度が2倍になると、容量は約4倍になります。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の2倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。
- 取り込んだ画像をインクジェットプリンタなどで印刷する場合、画像の解像度はEPSON TWAIN Pro（出力機器項目）の初期設定値で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像の取り込み/保存/読み込み/印刷などが遅くなります。

インストールによって登録される内容

EPSON TWAIN Proのインストールによって登録される内容は次の通りです。

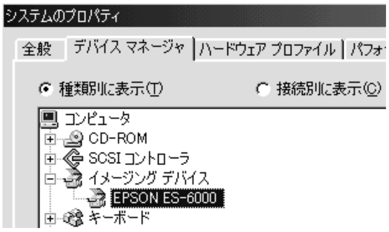
Windows 98/2000/Me

デバイスマネージャ

イメージングデバイスの下に［EPSON ES-6000］が表示（認識）されます。
デバイスマネージャの表示方法については、以下のページをご覧ください。

☞「スキャナ接続前の確認」17 ページ

Windows 98/Me

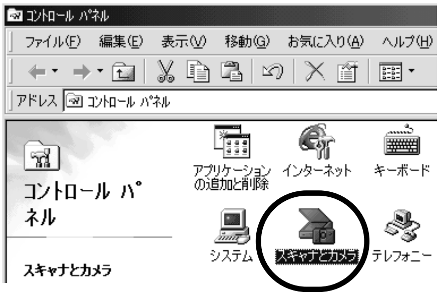


Windows 2000



コントロールパネル

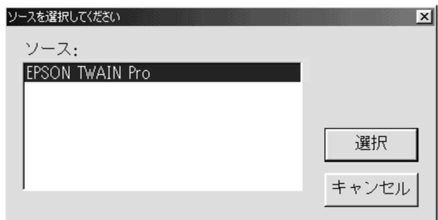
［スキャナとカメラ］アイコンが登録されます。
Windows 98/2000の場合、ダブルクリックすると、［スキャナとカメラのプロパティ］画面を表示します。
Windows Meの場合、［スキャナとカメラ］フォルダに［EPSON ES-6000］アイコンが登録されます。



EPSON TWAIN Pro（ドライバ）

スキャナ用のTWAINデータソースです。
TWAINデータソースを選択する手順については、以下のページをご覧ください。

☞「EPSON TWAIN Proの起動」63 ページ



スキャナとカメラ　ウィザードについて（Windows Meのみ）

Windows Meには、スキャナから画像を取り込むための機能［スキャナとカメラ　ウィザード］が搭載されており、EPSON TWAIN Proのインストールによってこの機能が有効になります。このウィザードは次の時に開きますが、このウィザードではスキャナ本来の性能を発揮することができません。そのため、EPSON TWAIN Proを使用して画像を取り込むことをお勧めします。

- マイコンピュータの中に登録されているスキャナのアイコンをダブルクリックした時
- TWAINデータソースの選択画面で［WIA-EPSON ES-6000］を選択した場合
- ［スタート］ボタン－［プログラム］－［アクセサリ］－［スキャナとカメラ　ウィザード］の順にクリックした時

Windows 95/NT

デバイスマネージャ（Windows 95のみ）

EPSONスキャナの下に、［EPSON SCANNER ES-6000］が表示（認識）されます。
デバイスマネージャの表示方法については、以下のページをご覧ください。
☞「スキャナ接続前の確認」17 ページ



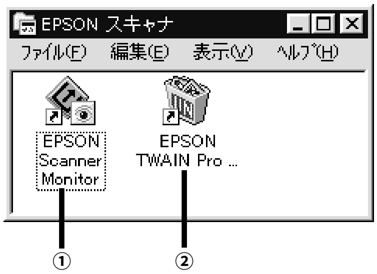
コントロールパネル

［EPSON TWAIN Pro］アイコンが登録されます。
［EPSON TWAIN Pro］では、スキャナの接続テスト（41ページの⑥の手順）を行えます。



[EPSONスキャナ]グループ

[EPSONスキャナ］グループが作成され、次のアイコンが登録されます。



① EPSON Scanner Monitor（エプソンスキャナモニタ）

スキャナのスキャナビボタン押下を監視するためのユーティリティです。
Windowsを起動するとEPSON Scanner Monitorも自動的に起動し、常時スキャナのスキャナビボタン押下を監視します。
EPSON Scanner Monitorの詳細については、下記をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「スキャナビボタンの使い方－Windows」

②EPSON TWAIN Proアンインストール

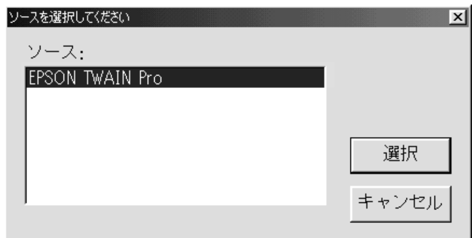
EPSON TWAIN Proを削除するためのユーティリティです。削除の仕方については、下記をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「EPSON TWAIN Proの再インストール」

EPSON TWAIN Pro（ドライバ）

スキャナ用のTWAINデータソースです。TWAINデータソースを選択する手順については、以下のページをご覧ください。

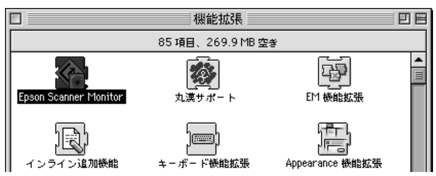
☞「EPSON TWAIN Proの起動」63ページ



Macintosh

機能拡張

スキャナのスキャナビボタン押下を監視する機能拡張［EPSON Scanner Monitor］が組み込まれます。



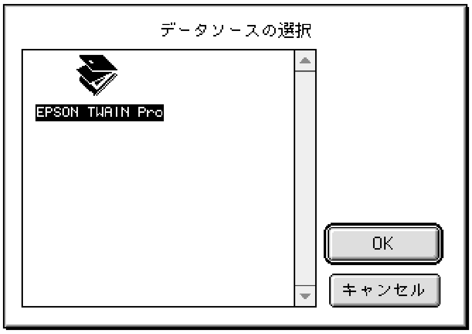
そのため、Macintoshを起動すると、EPSON Scanner Monitor機能拡張が組み込まれ、常時スキャナのスキャナビボタン押下を監視します。
EPSON Scanner Monitorの詳細については、下記をご覧ください。

☞ ユーザーズガイド（CD-ROM）「スキャナビボタンの使い方－Macintosh」

EPSON TWAIN Pro（ドライバ）

スキャナ用のTWAINデータソースです。TWAINデータソースを選択する手順については、以下のページをご覧ください。

☞「EPSON TWAIN Proの起動」63 ページ



コントロールパネル

［EPSON ScannerSelector］アイコンが登録されます。

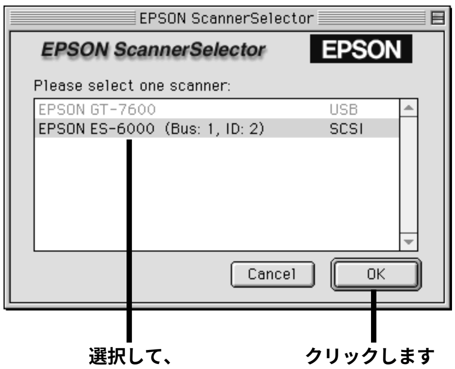
これは、複数のEPSONスキャナを接続している場合に、使用するスキャナを選択するためのユーティリティです（ただし、スキャナビボタンを使用する場合は［EPSON ScannerSelector］による選択は不要です）。次の手順で選択してください。



1 コントロールパネルの［EPSON ScannerSelector］アイコンをダブルクリックして開きます。



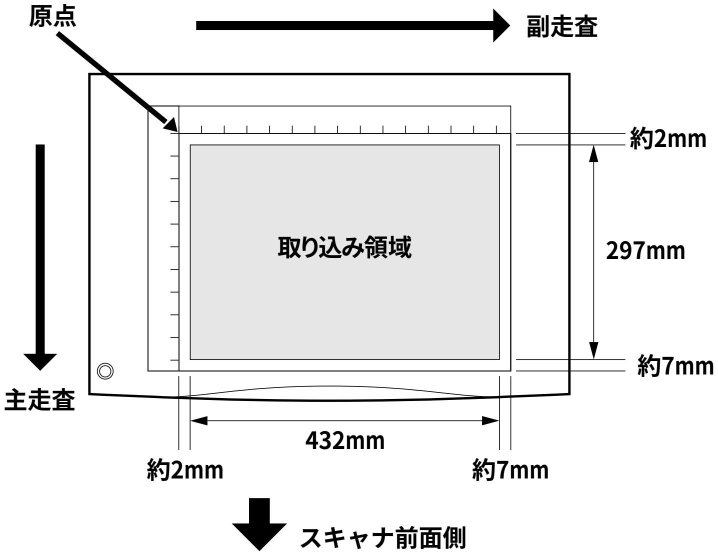
2 使用するスキャナ名を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



使用できる原稿

使用できるサイズ

最大A3サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。ただし、原稿台に付いているスケールの内側約2～7mmの領域は取り込みません。



主走査：センサで読み取る画素の1ラインごとの読み取り方向
副走査：キャリッジの移動による読み取り方向

ポイント

- 縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。
  - B5　（182mm×257mm）
  - LTR　（216mm×279mm。アメリカで使われるレターサイズ）
  - A4　（210mm×297mm）
  - A3　（297mm×420mm）
- 図面のように直行する線の多い原稿や、直線の多いイラストを取り込む時は、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

原稿台よりも大きい原稿のセット

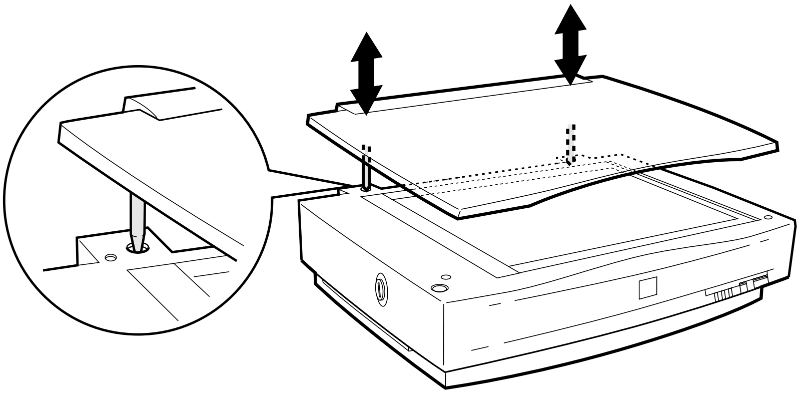
原稿台よりも大きい原稿や、本などの厚い原稿を取り込む時は、原稿カバーを外して原稿をセットすることができます。

ポイント

- 原稿カバーを外した状態で原稿をセットする時は、原稿を上から押さえて原稿台に密着させ、浮き上がらないようにしてください。
- 原稿を押さえる時は、原稿が動かないように、また力を加えすぎないように注意してください。

原稿カバーの取り外しと取り付け

原稿カバーを取り外す時は、原稿カバーの後ろを持ち、上に引いて取り外します。
原稿カバーを取り付ける時は、原稿カバーの2本の軸を上から差し込みます。




注 意

原稿カバーには強い力をかけたり、斜めに力を加えないでください。カバーが破損するおそれがあります。

原稿の条件について

本機は反射原稿（光を反射する原稿）を取り込むイメージスキャナです。原稿の種類によってはうまく取り込めないこともあります。次の点にご注意ください。

- 写真、印刷物など表面が平滑な原稿を使用してください。
- 貼り込みなどで表面に段差がある原稿を取り込んだ場合、段差のところに色にじみが生じることがあります。また、厚みのある原稿を取り込んだ場合も、にじみが生じることがあります。
- OHP シートを取り込む場合、白い背景に置いて原稿がはっきり見えるようにしておけば、取り込むことができます。
- 原稿の紙厚が薄い場合は、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りして取り込まれることがあります（黒い紙を原稿の裏側に重ねて取り込むと、改善できる場合があります）。
- ネガフィルムやポジフィルムなどの透過原稿を取り込むことはできません。

用語集

英数字

API：

Application Program Interfaceの略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のあるAPIを定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAINとは、スキャナを制御するためのAPIの規格。

bit：

binary digit（2進数）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0か1で表す。8bitで0～255の数値（デジタルデータ）を表すことができる。本スキャナおよびTWAINは各色8bitでの出力が可能なので、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ256階調、トータルで約1,677万色の表現力がある。

OCR：

Optical Character Recognitionの略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCRソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Readerと言う。

PDF：

Portable Document Formatの略。電子形式書類の一種で、Acrobat Readerという無料ソフトによって閲覧できる。

readmeファイル：

ソフトウェアが納められているCD-ROMなどに保存されている文書ファイルで、使用上の制限など、読んでほしい内容が書かれている。

SCSI：

SCSIとはSmall Computer System Interfaceの略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。複数のSCSI機器を、最大7台まで数珠つなぎ（デイジーチェーン）に接続可能。

SCSI ID：

SCSI機器は複数接続（デイジーチェーン）可能だが、各機器を区別するために設定する番号のこと。機器間でID番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

ターミネータ（terminator）：

終端抵抗。SCSIなどの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

TWAIN（トウェイン）：

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと言う。

付属のEPSON TWAIN Proは、このTWAIN規格に対応しているので、各種TWAIN対応アプリケーションから画像を直接取り込むことができる。

アイウエオ

解像度(resolution)：

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約25.4mm {1インチ} 幅にいくつあるかを［印刷解像度］と言い、単位はdpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度： → 画像を取り込む時に、EPSON TWAIN Proで設定する解像度

画像データ自体を構成する画素（点）が約25.4mm {1インチ} 幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込み／印刷などに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

表示解像度：

画像をコンピュータのディスプレイに表示した時に、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表す時も表示解像度を用いる。

階調(gradation)：

自然界の光は明から暗まで無段階にあるが、そのままではコンピュータで処理できないので、明暗を有限な段階に区切って処理する。その各段階の濃度を階調と言う。
区切りの数を階調数と言う。フルカラーでは、赤（R）・緑（G）・青（B）それぞれ256階調（8bit）、トータル16,777,216色（24bit）になる。階調の数値が高いほど画像は精細になるが、データ量が多くなるためコンピュータでの処理に時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

画素(pixel)：

画像が細かい点で構成されているとみなした時、それぞれの点のことを画素と言う。コンピュータでは、画素をデータに置き換えて処理する。1画素を何ビットで表現するかにより、画像の色数や階調数が決まる。

キャリッジ(carriage)：

原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いており、取り込み時に移動する。取り込み前のキャリッジの待機位置をホームポジションと言う。

クリップボード(clip-board)：

ソフトウェア間でデータを交換する時に、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

走査(scan)：

スキャナは、原稿に光を当てて反射光を読み取り、画像などを構成する最小単位の画素に分割し、分解フィルターで色分解を行い、その色の濃淡を電気信号に変換する。この処理を走査と言う。
またスキャナは、横方向にセンサを並べ、それを縦方向に動かすことにより平面な原稿を読み取っていくが、横方向の読み取りを主走査（main scan）、縦方向の読み取りを副走査（sub scan）と言う。主走査、副走査を交互に繰り返すことにより、原稿を読み取っていく。

ターミネータ(terminator)：

SCSIの説明を参照。

チェックボックス(check box)：

項目（機能）の有効/無効を設定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効/無効を切り替えることができる。

デイジーチェーン(daisy chain)：

SCSIの説明を参照。

ディップスイッチ(DIP switch):

DIPはDual Inline Packageの略。パソコン本体や周辺機器を正常に動作させるために、動作環境の設定を行うスイッチのこと。

ドラッグ(drag):

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

メモリ(memory):

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

モアレ(moiré):

印刷におけるモアレ:

画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム(に配列されている微細な網点)を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換する(網点は中心部ほど高濃度になっており、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出される。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言う)。
2色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理(スクリーン処理)を行い、印刷時に再び重ねられるが、この時にそれぞれのスクリーン角度が一致(=網点が重複)すると、モアレが発生する。

スキャナでの画像取り込みにおけるモアレ:

スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット(点)の集まりで構成されている。この画像をスキャナで取り込んだ時に、印刷上のドットと取り込み後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生する。
モアレ除去機能を利用したり、原稿の向きを変えて取り込むことによって、ドットの一致をある程度防ぐことができるが、完全に防ぐことは難しい。

索引

MEMO

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人　日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。